

第四一號

0733

書籍

衣糧

機械

銃砲



關參編第五八九號

編成（編制改正）詳報提出ノ件報告

昭和十三年九月廿六日

關東軍司令官 植田 謙

陸軍大臣 板垣 征四郎 殿

昭和十三年軍令陸甲第五十二號ニ基キ編成（編制改正）セル部隊
ニ對スル首題ノ件別紙目錄ノ通提出ス



目 録

關 東 軍

書 類 名	提 出 部 隊	部 數
編 成 (編 制 改 正) 評 報	關 東 軍 司 令 部	一
同	第 一 戰 車 團 司 令 部	一
獨 立 步 兵 第 一 聯 隊 編 成 評 報	獨 立 步 兵 第 一 聯 隊	一
編 成 評 報	戰 車 第 四 聯 隊	一
同	獨 立 野 砲 兵 第 一 聯 隊	一
工 兵 第 二 十 四 聯 隊 編 制 改 正 評 報	工 兵 第 二 十 四 聯 隊	一
關 東 軍 無 線 電 信 教 育 隊 稱 號 變 更 實 施 概 況	關 東 軍 無 線 電 信 教 育 隊	一

0735



編成詳報

第四聯隊

戰車第四聯隊



陸軍

一、編成實施ノ概況

第一、輕裝變更

昭和十三年八月二十一日新立歩兵第一旅團戰車隊ヲ戰車第四聯隊ト改稱ス

第二、輕裝甲車隊ノ改稱

昭和十三年八月二十一日新立歩兵第一聯隊輕裝甲車隊建制ノ備當

聯隊ニ轉屬ス

在來ノ輕裝甲車隊ヲ第五輕裝甲車隊、新轉屬ノ輕裝甲車隊ヲ第六輕裝甲車隊ト改稱ス

第三、人員ノ轉屬

新立歩兵第一聯隊ヨリ技術准尉一名當聯隊ニ轉屬ス

第四、編成完結

第一、第二、第三項ノ實施ヲ以テ編成完結トナス

第五、兵舎車廠ノ移轉ト第六輕裝甲車ノ轉營

(1) 第六輕裝甲車隊ノ兵舎、車廠トシテ充用ノ爲八月二十一日ヨリ二十四日ニ亘リ各中隊及材料廠ノ兵舎及車廠ヲ閉縮、移轉整理セシメ八月二十五日第六輕裝甲車隊ノ轉移ヲ實施シ同日終了ス	ニ轉移ニ關スル意見	具體的事項ニ關シテハ將來別ニ提出スヘキモ急ヲ要スル事項ニツキ概要ヲ述フレハ左ノ如シ	一、兵舎、器材ノ追加支給ニ關テ	(1) 補充隊ヲ關シテ輕裝甲車及自動車ノ追加支給ヲ必要トス	(2) 第六輕裝甲車隊(器材)ノ追加支給ヲ必要トス時ニ通信器材及土工器材ニ於テ然リ	二、兵舎並ニ其他ノ給(給)費ニ關テ	中隊人員數ノ増減ニ關ヒ左ノ如ク増減額ヲ必要トス	(1) 第六輕裝甲車隊 兵舎ノ増減	(2) 同 右 車廠ノ新築
---	------------------	--	------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------	--------------------------------	--------------------------	----------------------

0738 0739

夏草の国を
夏草の国を
夏草の国を

陸軍

(3) 牧草場ノ増築

(4) 河保ノ増築

戦車第四大隊

(5) 浴場ノ増築

(本部及三ヶ中隊、一材料廠)創設ハ

(6) 本部ノ増築

編制ニ應スル設計建築ナルヲ以テ現在

(7) 貯油所ノ増築

約倍數ニ膨張セル貯油所ノ現況ニ鑑ミ増

築ヲ必要トス

皆

直轄ノ一連ハ本年二月罷災シ冬期ニ於ケル防寒施設無ノタメ兵
 隊ノ保護、出動準備、教育訓練ニ不便支障ヲ忍ヒツツアル現況ニ
 於テ直轄ノ新築ハ最モ急務トス

三 附 表

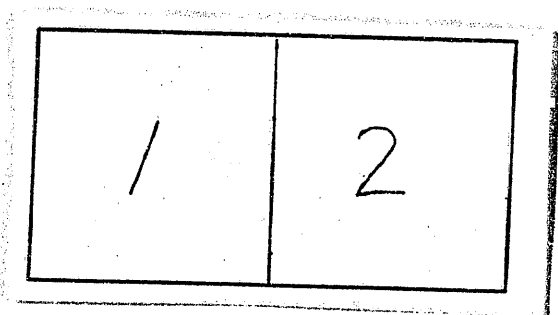
一 將士職員表

附表第一ノ如シ

二 人員、車輛一覽表

附表第二ノ如シ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 8 年 12 月 11 日 主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 	

輕戰車中隊附

材料廠長 小坂喜代二
 歩少佐 宮崎清正
 2677 304

同 解 歩大尉 因三治
 同 解 歩中尉 中島英夫
 同 解 歩中尉 北濱藤松
 歩中尉 蘆田歌助
 1914, 2337, 232, 411.

材料廠附

同 同 小林 恭
 同 同 青木健三郎
 同 同 平野三男

同 同 同 下 歩大尉 神山 保
 同 同 同 同 歩中尉 小見門晴一
 同 同 同 同 歩中尉 保田金雄
 同 同 同 同 歩少尉 八木 進
 221, 242, 652

備考

計五十三名内定員外五名

- 一氏名下列次々昭和十一年十月十日陸軍省調製陸軍將校實役停年名簿及特別志願將校名簿(服役停年名簿抜萃)ニ依ル
- 二列次記載シテラサルモノ前項名簿未記載者トス
- 三(五)上級職(下)下級職(外)定員外(特)特別志願(豫)豫備役ヲ示ス

軍務機密

義車第四聯隊人員表

昭和十三年八月二十一日調

備考	合計		材料廠	第六輕裝甲車隊	第五輕裝甲車隊	第四中隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	本部	隊分	
	現役	後援									大	中
一、本表上等兵、中隊、八伍長勤務トス 二、本表上等兵、中隊、八伍長勤務トス 三、本表上等兵、中隊、八伍長勤務トス	一									一	佐	大
	一									一	佐	中
	三		一							二	佐	少
	一		一	一	一	一	一	一	二	三	尉	大
	二		二	一	三	一	四	一	三	一	尉	中
	二		二	三	四	四	三	四	四		尉	准
	三		二	四	五	四	五	四	五	四	長	曹
	九		七	四	一	一	五	六	六	三	(長伍)	曹
	四							天			生補候	官士
	三				六	六	六	六	六		生補候	部
	一			一	一	一	一	一	一		徴	昭
	一		一	二	二	二	二	二	二		徴	昭
	二			九	八	三	三	二	二		徴	昭
	三		四	八	八	三	二	三	三		徴	昭
	三		六	四	九	六	五	五	五		徴	昭
	七		一	五	一	三	九	八	八	一	計	
	二		三								官士	下
	二		三								官士	下
	一									一	官	尉
	四									四	官士	下
	二									一	官	尉
	一									一	官士	下
	五				一	一	一	一	一		徴	昭
	六			一	一	一	一	一	一		徴	昭
	七		一	一	一	一	一	一	一		徴	昭
	四		三								員工	
	五		四	二	三	三	三	三	三	一	計	
	七		一	一	一	一	一	一	一	二	計合	

軍事機密

戰車第四聯隊車輛一覽表

昭和十三年八月二十一日調

隊品	號目	本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊	第五輕裝甲車隊	第六輕裝甲車隊	材料廠	合計	備考
八式戰車	九					一三			(三)	一五	一材料廠擴充中格孤ヲ附セルハ兵器委員保管車輛トス
九式輕戰車	五		一四	一三	一二				(二)	四九	
九式輕裝甲車	四		二	二	二	五	一七	一七	(七)	五二	
六輪乘用車	六	二	一	一	一	一	一	一	一	九	
六輪自動貨車	定數	二	八	八	八	八	五	六	(七)	六六	
四輪超輕型車	敎用車	一	三	三	三	三	三		三	一九	
修理用自動車	修理用車		一	一	一	一		一	一	七	
同附屬車	同附屬車								一	三	
同附屬車	同附屬車								一	三	
同附屬車	同附屬車	二	二	二	二	二	二	二	二	一九	
合計		七	三一	三〇	二九	三三	二八	二七	(一) 二六	二四二	
摘要											

軍事機密

軍令陸甲第五十二號編成ニ關スル詳報

獨立野砲兵第一聯隊

一 編制改正實施ノ概況

附參編第五〇一號ニ基ク獨立野砲兵第一聯隊ノ編制ハ昭和十二年軍令陸甲第四號、昭和十二年任滿軍備改變要領其一、獨立混成第一旅團砲兵隊ノ編制ト同一ナリシヲ以テ名稱ヲ改稱セル外大ナル業務ナシ

然レトモ編制改正首手ヲ命セラレタル昭和十三年八月二十一日ハ沙阜峠事件山動中ナリシヲ以テ歸還セシ九月十二日ヲ以テ編制ヲ元復ナル報告ヲナス

幕僚ハ昭和十二年任滿軍備改變要領其一二基ク機關砲中隊ノ編制ニハ木タ首手シアラス 史ニ

獨立野砲一中隊 騎兵第四旅團獨立歩兵大隊砲兵中隊ノ編成

ニ件ヒ傳出セル宿米野砲一中隊賦ニシア之カ附填ニ關シテハ別
 ニ示ス如ク規定シアリシモ左記ニ記載セル前報告並調査表ハコ
 レ等ニ件フ不足數並從來ノ足數ニ對シ要求シアリシモ末文給ノ
 爲不足トナリアル旨賦ニ關シ調査報告セルモノナリ

左記

一、編制改正部隊 所安兵數過不足表

提出スミ

二、編制改正部隊 所安被服不足表

三、編制改正部隊 所安陣營具糧食用具不足表

四、編制改正部隊 所安縫靴工具備付不足表

提出ス

五、編制改正部隊 所安衛生材料不足表

六、編制改正部隊 所安戰時消除規消動務令不足表

二將來ニ關スル意見

獨立野砲兵第一聯隊兵數表（附表第二其四）ヲ次ノ如ク改正セ
 ラレ度

0746

吳昌碩

1、

品 目		聯隊本部		一野他中隊	
		兵器表	改正意見	兵器表	改正意見
九〇式野 他砲	九〇式榴弾 同	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	九〇式榴散弾 同	一、五〇〇	七五〇	五〇〇	二五〇
	尖銳弾 同	ナシ	七五〇	ナシ	二五〇

編成改正ニ伴ヒ車直 砲兵トナリタル結果九〇野砲ノ長射
程ノ威力ヲ安望スル場台尠ナカラスト思考セラル

2、戦車地雷 各中隊、材料廠、各一〇〇宛支給セラレ度
對戦車戦闘ノ爲

軍事機密

昭和十三年九月十七日

工兵第二十四聯隊編制改正詳報

齋成擔任官

旧獨立混成第一旅團工兵隊長

川村 質 郎

0748



6

第一編制改正着手前ノ概況

一、軍令陸甲第五十二號陸滿機密第三十號關參編第
 五百一號ニ依リ工兵第二十四聯隊ノ編成ヲ
 軍令陸甲第五十三號陸支機密第三百三號關參編第
 五百七號ニヨリ自動車部隊要員ノ差出シヲ令セラ
 八月二十二日ヨリ之ニ着手スル如ク命セラレタルモ隊ハ
 當時張鼓峰事件ニ出勤シ北鮮新阿山ニ在リタル
 ヲ以テ旅團連絡將校ニ依リ前記諸命令ヲ出勤
 先ニ於テ八月十九日受領承知セルモ到底二十一日ヨリ
 着手スル事不能ナリシヲ以テ之カ事情ヲ附シ關東

軍司令部宛改正業務着手延期ノ申請ヲ出スト共
 朝鮮軍司令部宛隊ノ歸還促進ヲ申請シ改正
 業務準備ノ爲所要人員ヲ先發セシメタリ
 爾後歸還ノ時期ヲ待テアリタルモ北鮮附近ハ近
 代掘削ノ豪雨ノ爲鐵道ノ破壊甚タシク延期ニ
 延期ヲ重テ漸ク九月十三日歸還シ同十五日歸還業
 務ヲ完結シ同日直チニ改正業務ニ着手セリ
 先發歸還人員ノ準備セル處大ナリシヲ以テ其ノ業
 務ノ進捗ハ順調ニ進行セリ

二、改編業務實施ノ概要

九月十五日(改編第一日)

1. 兵站自動車隊要員轉出

2. 出動諸車輛復旧検査

3. 定員外者教育用車輛ノ撰定

4. 特別教育隊(定員外人員教育)要員ノ撰定區分

5. 二兵第三十四聯隊將校命課傳達

九月十六日(改編第二日)

1. 二兵第三十四聯隊ノ中隊ト特別教育隊トノ區分

2. 幹部隊内命課

- 3 中隊供用兵器ノ検査
- 4 改編ニ伴フ兵器ノ整理區分並ニ供用
- 5 教育隊支給車輛整備

九月十七日（改編第三日）

1. 中隊及教育隊、隊内編成

2. 個人被服、支給

3. 教育隊用車輛交付

4. 改編完結

5. 隊長訓示

6. 完結報告

7. 諸提出、並報告書類ノ記述

三職員表並三人馬一覽表別表、如シ

但シ馬匹ハ馬取扱兵ノ教育ヲ了ナルト厩舎、

建築ノ關係上未受領ナリ

四改編業務ニ關スル所見

自動車部隊要員トシテ三十名ヲ轉出セシメラレタル爲

兵トシテ四五

二兵第三中隊(中隊欠)ハ一〇名ノ欠員ヲ生セリ

將來昭和十二年徵集兵ノ除隊若クハ轉出ヲ要スル際考

慮セラレ度

右欠員ヲ生シタル原因ハ本年三月獨立工兵第二中隊ヨリ獨立混成
第一旅團工兵隊(ニテ中隊)ニ改編セラレタル際昭和十年徵集兵ノ
在營延期ニ依リ辛シテ兩中隊ノ定員ニ近ク編成シ
得タル狀況ナリシヲ以テ今回ノ轉出ヨリ缺員トナレルモナリ

二六第二十四聯隊(中隊欠)將校各部將校職員表
昭和十三年九月十日調製
 二六第二十四聯隊

聯隊長	大佐	川村賢郎
副官	大尉	淺利義成
聯隊附	中佐	吉富敏男
(上)中尉	(特)少尉	野見山武男
(特)少尉	主計	市田榮次郎
主中尉	軍醫	宮川庚五郎
軍醫	醫大尉	阿部秀治
中隊長	大尉	菱内烈夫
中隊附	中尉	白濱 敏
(特)少尉	(特)同	西田友二
(特)同	定員外	石原清一
計	計	十一名
(特)少尉	(特)同	木村素介
(特)同	計	山口矩夫
計	計	二名

0755

備考

一本表中(上)ハ上級職、(下)ハ下級職、(特)ハ特別志願、(豫)ハ豫備役ヲ示ス

昭和十三年九月七日

0756

關東軍無線電信教育隊

關東軍無線電信教育隊編成變更概況

昭和十三年八月二十三日
關東軍無線電信教育隊

稱號變更實施ノ概況

一、昭和十三年八月十七日關參編第五〇一號稱號變更ニ關スル規定ヲ受領ス

二、八月二十一日昭和十三年軍令陸甲第五十二號ニ基キ稱號變更セラル關東軍無線電信教育隊將校職務命課發令セララル

三、八月二十三日獨立混成第一旅團ノ隸下ヲ離レ關東軍無線電信教育隊ト改稱ス

四、陸滿機密第三〇號ニ據ル關東軍無線電信教育隊兵器定数表ニ示ス兵器中器械ハ九四式三号兩無線機「」ヲ教育用貸渡 九四式六号

無線機「五」ヲ不足トスル他充當セラル
 携帶兵器ハ転属者携帶セルモノヲ之ニ充當
 シ尚不足ハ今次支給充當セラル
 又勅重用十五年式銃馬具中懸箱「二」載箱用
 甲「一」ヲ不足ニ在リ

五. 完結時ニ於ケル關東軍無線電信教育隊將校
 准士官ヲ含メ職員表並人馬一覽表附表第一第二ノ如
 シ

大關東軍無線電信教育隊兵器定数表中左ノ如
 ク其ノ一部ヲ訂正セラレ度

左記

七、其他

現在、之		訂正ヒラ度ヒ、		陸軍
品	数量	品	数量	
三十二年式重砲	二		一	八
三十七年式銃剣	一		四	八
三八式歩兵銃	一		一	八
理由				
當隊編制上ヨリスル業務關係等ニ承リ各部				
下士官ヲ除キタル兵科下士官(陸曹)ハ、二				
十年式銃剣ハ三十二年式重砲ハ、二				
少兵銃ハ運用ハ二對一ト立ルハ、二				
区今不明ニシテ此何ナル理由ヲ得ニ難ク之				
ヲ削除スルハ、二				

1920

教育隊將來ノ教育其他ニ關シテハ米々上司
ノ指示ナクハ細部ノ意見ハ教育隊將來
ノ教育其他ニ關シ上司ノ指示アリタル後提
出ス

(昭和十二年、奥谷納)

関東軍無線電信教育隊將校^{准官}職員表

昭和五年八月五日調製

隊長

歩少佐 漆原 武

2746

隊附

工大尉 福田 秋磨

3040

(下) 歩大尉

白井 信

3370

(下) 歩大尉

多田 外次

1844

歩中尉 小川 武利

1187

歩准尉 村岡 力

主計

(左) 主少尉 石川 和男

軍医

醫中尉 加治 正

324

計

八名

一、將校員役停年名簿ハ昭和二年十月十日調製之ニ依ル前送トス。

軍事機密

人馬一覽表

昭和十三年八月二十二日調製

備考	合計	陸軍	部		兵科	工
			役	階級		
一、軍費(昭和十三年)ノ内ハ陸軍通過費外ハ遺失中ト 二、ハ、第... 三、御... ...		陸軍	除種	級		
	一	1	佐	少	兵科	工
	三	3	尉	大		
	一	1	尉(少)	中		
	一	1	長	准		
	二	2	長	曹		
	二七	7	(長伍)	曹軍	經理部	衛生部
	一五	15	計			
	一	1	官士下衛技兵工			
	一	1	尉			
	一	1	官士下			
	一	1	尉			
	一	1	官士下			
	一	1	徴昭	兵上衛生		
	一	1	徴昭	等兵三		
	三	3	員		工	
	九	9	計			
	二	2	計		合	
	一四	24	計			

0763

0764



編成（編制改正）詳報

軍事機密

（紙數拾九枚
附表拾六枚）

昭和十三年九月二十五日
關東軍司令部調製

陸軍

目次

- 第一、編成（編制改正）實施ノ概況
- 一、編成（編制改正）著手前ノ準備
 - 二、編成（編制改正）實施
 - 三、將校、各部將校ノ職務命課及編成（編制改正）完結
- 第二、將來ニ關スル意見
- 一、要領、細則ノ送付ニ就テ
 - 二、兵要員ニ就テ

陸軍

編成（編制改正）詳報

第一、編成（編制改正）實施ノ概況

一、編成（編制改正）著手前ノ準備

昭和十三年軍令陸甲第五十二號戰車團、獨立歩（獨立砲）（工）兵聯隊編成要領、同細則ヲ八月十五日宰領者ヲ附シ空送セラレタルヲ以テ直ニ關參編第五〇一號戰車團、獨立歩（獨立砲）（工）兵聯隊編成ニ關スル規定（附錄）ヲ調製シ編成（編制改正）ヲ實施スヘキ獨立混成第一旅團ニ對シテハ八月十六日要領、細則ト共ニ宰領者ヲ附シ同日夕交付シ其ノ他ノ關係各部隊ニハ同日郵送セリ

細則附表第一ニ據リ在滿各師團ヨリ獨立歩兵第一聯隊ニ轉屬スヘキ兵ノ到着期日特（分）乘等ニ關スル件ヲ定メ關係各師團ニ通報セリ

今次編成（編制改正）ヲ實施スヘキ部隊中獨立歩兵第一聯隊及

2920

編制改正

ヤ一第百一
24p

軍

他(一工)

送セラレ

立砲(二工)

改正一ヲ

領、細則

ニハ同日

ニ轉屬ス

各師團ニ

一聯隊及

2940

一、
24p 無線教育
経利改正記載す
のみ

獨立混成第一旅團砲兵隊、同上兵隊ハ張鼓峯事件ノ爲出動中ナリシカ獨立歩兵第一聯隊ハ八月十五日其ノ駐屯地ニ歸着シアリタリ

二、編成（編制改正）實施

1. 第一戰車團司令部

第一戰車團司令部ハ今次ノ編制改正ニ於テハ從來ノ獨立混成第一旅團司令部ノ稱號ヲ變更シ參謀ヲ部員ニ改メテレ調査掛將校ヲ減少セラレタル外現狀ノ通ナルヲ以テ八月二十一日編制改正ニ着手シ八月二十三日編制改正ヲ完結セリ

2. 獨立歩兵第一聯隊

獨立歩兵第一聯隊ハ今次ノ編制改正ニ於テ關東軍司令官直轄トナリ從來ノ輕裝甲車中隊ヲ連制ノ儘戰車第四聯隊ニ轉屬セル外聯隊全部ヲ自動車編成ヨリ徒歩編成ニ改正セラレ步兵三大隊（大隊ハ步兵四中隊、機關銃一中隊ナルモ步兵一大隊ト

（續前頁）

各大隊歩兵各一中隊ハ當分ノ間缺一及歩兵砲大隊（歩兵砲二
中隊一並通信隊一ヨリ成リ從來ノ材料廠ハ廢止セラル
而シテ其ノ輕裝甲車中隊ハ八月二十一日戰車第四聯隊ニ轉屬
シ細則第四條ニ依リ第二次兵站自動車部隊ニ轉屬スヘキ兵五
一八名ニハ主トシテ自動車手及材料廠ノ兵ヲ充當シ別ニ下士
官若干ヲ増加シ八月二十四日公主嶺ヲ出發轉屬セシメタリ
細則附表第一ニ依リ第一、第二、第四、第七、第八、第十二師
團ヨリ轉屬セラルヘキ兵六六〇名ハ八月二十五日乃至九月五
日ノ間ニ公主嶺ニ到着シ馬匹ハ關東軍第一補充馬廠ヨリ之ヲ
交付スル如ク定メラレ八月三十一日交付シ九月六日編制改正
ヲ完結セリ
而シ自動車編成ヨリ急激ニ徒歩編成ニ改メラレタル爲馬匹ノ
取扱ニ慣熟セサルヲ以テ關東軍第一補充馬廠ニ下士官ヲ派遣
シ教育セシムル爲同補充馬廠ヨリ下士官ヲ該聯隊ニ派遣シ兵

ノ教育ヲ援助セシメ又一部調教未完ノ馬匹ハ該補充馬廠ニ於テ調教セシムルコトトセリ

2 戦車第四聯隊

戦車第四聯隊ハ今次ノ編制改正ニ於テ稱號ヲ變更シ獨立歩兵第一聯隊ヨリ輕装甲車一中隊ヲ八月二十一日建制ノ儘轉屬セラレタル外從來ノ編制ニ變更ナキヲ以テ八月二十四日編制改正ヲ完結セリ

3 獨立野砲兵第一聯隊

獨立野砲兵第一聯隊ハ今次ノ編制改正ニ於テハ稱號ヲ變更セラレ其ノ隸屬系統ヲ關東軍砲兵司令官ニ改メラレタル外人員資材等ノ變更ナキモ張鼓峯事件ノ爲出動中ナリシヲ以テ九月十二日其ノ駐屯地ニ歸還後直ニ著手シ同日編制改正ヲ完結セリ

4 工兵第二十四聯隊

工兵第二十四聯隊ハ今次ノ編制改正ニ於テハ稱號ヲ變更シ從來ノ自動車編成ヲ徒歩編成ニ改メ關東軍司令官直轄トナル聯隊ノ主力ハ張鼓峯事件ノ爲出動中ニシテ既ニ歸還ヲ命セラレタルモ北鮮一帶豪雨ノ爲鐵道破壞シ歸還遲延シ九月十三日公主嶺ニ歸還シ細則第四條ニ依リ第二次兵站自動車部隊ニ轉屬スヘキ兵三十四名ハ九月十五日轉屬シ受領スヘキ馬匹ハ關東軍第一補充馬廠ニ一時預託セシメ調教ノ上受領スルコトトシ九月十七日編制改正ヲ完結セリ

5. 關東軍無線電信教育隊

關東軍無線電信教育隊ハ今次ノ編制改正ニ於テハ稱號ヲ變更セラレ關東軍司令官直轄トナリタル外人員其ノ他ニ變更ナク八月二十三日編制改正ヲ完結セリ

三、將校、各部將校ノ職務命課及編成（編制改正）完結

編成（編制改正）セル部隊ノ將校、各部將校ノ職務命課ハ附表

0772 0773

石
部
の
部
上
部
下

第一乃至第五ノ如ク編成（編制改正）完結日一覽表附表第六ノ如シ

第二、將來ニ關スル意見

一、要領、細則ノ送付ニ就テ

要領、細則ハ率領者ヲ附シ空送セラレタルヲ以テ速ニ着手スルヲ得タリ將來ニ於テモ今次ノ如ク願慮セラレ度

二、兵要員ニ就テ

獨立歩兵第一聯隊編成要員トシテ第七師團ヨリ轉屬セシ昭和十年徵集兵六十名ハ臨時召集者ナルヲ以テ昭和十年徵集兵（三年兵）ノ除隊ヲ命セラルル場合ニ於テハ特ニ考慮セラレ度

工兵第二十四聯隊ハ其ノ一中隊ヲ臨時動員セラレ現在ノ一中隊ハ兵ノ約半數ニシテ三年兵ノ服役延期ニ依リ辛フシテ編成シアリシモ今次ノ編制改正ニ於テ第二次兵站自動車部隊要員トシテ三十四名ヲ轉屬セシメラレタル爲兵四十二名ノ缺員ヲ生スルニ

至レリ

將來獨立工兵第五聯隊編成ノ際ニ於テハ特ニ該隊ヨリ兵要員ヲ抽出セサル如ク考慮セラレ度

陸軍

附表第一
軍事機密

將校各部將校職員表

昭和十三年八月二十一日調製
東 軍

第一戰車團司令部		戰車第四聯隊	
團長 中將 安岡 正臣	聯隊長 大佐 玉田 美郎	中戰車中隊附 中尉 渡部 庄一	
副官 少佐 増田 梅喜	聯隊副官 少佐 緒方 休一郎	中戰車中隊 中尉 坪田 限夫	
歩少佐 久保 達夫	中佐 松井 隆美	少尉 梶谷 常一	
歩大尉 芳村 正義	少佐 石川 治	同 白形 琢郎	
部員 少佐(大尉) 欠	同 高橋 正次	同 須之内 誠一	
兵器附 砲少佐 佐藤 三郎	主計 佐伯 市平	同 小坂 喜代二	
砲大尉 森 國雄	主計官 欠	同 上田 春三	
暗號附 工大尉 沖島 定一	軍醫 米澤 逸郎	同 井上 徳次	
主計 主中佐 高畑 富	同 千葉 正康	同 伊藤 喜久	
軍醫 醫中佐 太田 治久	同 溝口 正博	同 鈴木 常矩	
計 九名	同 北村 良一	同 小林 泰三	
欠計 一名	同 松本 隆次	同 青木 健三	
定員水 歩大尉 原 健護	同 玉木 宗一	同 平野 三男	
	同 國 三夫	同 宮崎 清臣	
	同 中島 英夫	同 神山 保	
	同 北濱 藤松	同 小見門 晴一	
	同 蘆田 敬之助	同 係田 金雄	
	同 田畑 良一		
	同 亀岡 正一		
	同 瀧 義信		
	同 藤田 半五郎		
	同 庄司 榮治郎		
	同 永原 勝重		
	同 飯田 安之		
	同 富岡 善藏		
	同 新倉 政吉		
	同 平澤 義之		
	同 田口 一雄		
	中戰車中隊長 大尉 林田 貢		
	計 五名		
	定員水 大尉 堀田 鹿三		
	少尉 早乙女 忠仁		
	同 細谷 孫一		
	同 八木 進		
	同 山口 明男		
	計 四十八名		
	欠計 一名		

一 本表中(三)ハ上級職、(下)ハ下級職、(特)ハ特別志願、(予)ハ豫備役ヲ示ス

0225

附表第二

軍事機密

獨立歩兵第一聯隊(第二欠) 將校(准士官) 職員表									
聯隊長	大佐	名倉 榮	軍 醫	醫大尉	永嶋 成春	機關銃中隊長	中尉	鈴木 重正	
聯隊副官	少佐	竹内 良一	醫中尉	加治佐 正		機關銃中隊長	少尉	相澤 政之	
旗手	少尉	森 敏方	中隊長	大尉	吉田 洋三	機關銃中隊長	(應)少尉	杉山 義男	
聯隊附	中佐	田中和一郎	同	同	伊藤 留松	機關銃中隊長	(同)同	林 義男	
少佐	二官	邦彦	同	同	東 氏一	機關銃中隊長	(正)准尉	岩本 佐雄	
同	高崎 容種		同	同	漆畑 三次	機關銃中隊長	(同)同	寒川 淺水	
(正)大尉	山下 三雄		同	同	伊藤 久次郎	機關銃中隊長	中尉	久 二	
同	高延 隆雄		中隊附	中尉	内田 安伸	機關銃中隊長	步兵砲大隊副官	大尉	恒吉 常道
(應)中尉	白根 春一		(應)少尉	同	梅澤 新助	機關銃中隊長	大尉	榎元 純人	
(同)隊附	山根 龍太郎		同	同	大屋 岩太	機關銃中隊長	同	宮武 政次郎	
主計	八島 春三		(應)同	同	鍵田 萬壽雄	機關銃中隊長	步兵砲中隊長	中尉	佐々木 務
(將)主少尉	石川 和夫		(同)同	同	奥田 仲市	機關銃中隊長	同	市島 英雄	
主中少尉	久 一		(同)同	同	伊藤 貞吉	機關銃中隊長	(應)少尉	田口 松太郎	
軍 醫	渡邊 順		(同)同	同	山路 善一郎	機關銃中隊長	(正)准尉	小野 章	
醫少佐			(應)同	同	金子 政直	機關銃中隊長	通信隊長	山野 達彦	
獸 醫	藤田 徳之		(同)同	同	關根 彰	機關銃中隊長	通信隊長	西村 七男	
(應)獸少尉			(正)准尉	同	合田 音五郎	機關銃中隊長	通信隊長	兒玉 勇	
大隊長	荒井 武男		(同)同	同	廣瀬 宗雄	機關銃中隊長	通信隊長		
少佐	鈴木 五郎		(同)同	同	坂野 正義	機關銃中隊長	通信隊長		
同			(同)同	同	八巻 七藏	機關銃中隊長	通信隊長		
大隊副官			機關銃中隊長	大尉	藤田 肇	機關銃中隊長	通信隊長		
(正)中尉	細谷 利光		同	同	田尻 武義	機關銃中隊長	通信隊長		
備考	一、本表中(上)ハ上級職、(將)ハ特別志願將校、(應)ハ豫備役ヲ示ス								
備考	計 六十四名 欠計 十三名								

附表第三
軍事機密

獨立野砲兵第一聯隊（一中隊欠）將校職員表

昭和十三年八月三十一日調製
關東軍

昭和十三年八月三十一日調製
關東軍

考 備	聯 隊 長										材 料 廠 長									
	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	中 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐	少 佐
一 本表中（特）ハ特別志願、（豫）ハ豫備役ヲ示ス	中島 繼三	安部 遠水	管井 房吉	欠	鈴木 昱三	角石 幸平	高杉 太作	欠	山口 正直	欠	井澤 廣美	藤野 伊重	小室 正市	計 三名	計 二十二名	欠計 三名	伊藤 房吉	竹内 勲	岩下 伊吉	成瀬 勇
	聯 隊 副 官	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同
	聯 隊 附	大 尉	少 佐	同	大 尉	同	主 計	主 大 尉	主 尉 官	醫 官	醫 中 尉	醫 尉 官	中 隊 長	大 尉	同	同	同	同	同	同

2220

附表第四
軍事機密

工兵第二十四聯隊(中隊欠)將校職員表

昭和十三年八月二十一日調製
東 軍

聯隊長	大佐	川村 質郎
副官	主少尉	白濱 皎
聯隊附	(下)中佐	吉富 敏男
	大尉	淺利 義成
	中尉	野見山 武男
主計	主中尉	宮川 庚五郎
軍醫	醫大尉	阿部 秀治
中隊長	大尉	藪内 烈夫
中隊附	(特)少尉	木村 素介
	(同)同	西田 友二
	(同)同	石原 清一
定員外	少尉	市田 榮次郎
	(豫)同	山口 矩夫
計		計 十一名
計		計 二名

備考
一、本表(上)ハ上級職、(下)ハ下級職、(特)ハ特別志願、(豫)ハ豫備役ヲ示ス

8220

軍事機密

關東軍無線電信教育隊將校各部將校職員表

昭和十二年八月二十一日
關東軍

考	備										
		隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
	一本表中(下)ハ下級職、(左)ハ兼勤者ヲ示ス	隊長	歩少佐	工大尉	歩大尉	(下)同	歩中尉	主計	軍醫	(左)醫中尉	
		漆原	福田	白井	多田	小川	石川	加治佐	正		
		式	秋磨	信	外次	武利	和男				
								計			
								七			
								名			

附表第六

編成(編制改正)完結日一覽表		昭和十三年九月十七日 關東軍	
部	隊	編成(編制改正)完結日	
第一戰車團	第一戰車團司令部	八月二十三日	
戰車第四聯隊	戰車第四聯隊	八月二十四日	
獨立步兵第一聯隊	獨立步兵第一聯隊	九月六日	
獨立野砲兵第一聯隊	獨立野砲兵第一聯隊	九月十二日	
工兵第二十四聯隊	工兵第二十四聯隊	九月十七日	
關東軍無線電信教育隊	關東軍無線電信教育隊	八月二十三日	

1820



附錄

軍事機密 一連番 第一號

九八號

(附表 紙教拾參枚)

關參編第五。一號
戰車團獨立步(獨立砲)工兵聯隊編成ニ關スル規定

昭和十三年八月十六日
關東軍司令部調製

關參編第五〇一號

戰車團、獨立歩(獨立砲)(五)兵
聯隊編成ニ關スル規定、件違

關係各部隊

戰車團、獨立歩(獨立砲)(五)兵聯隊編成ニ關スル規定
別冊ノ通定ム

昭和十三年八月十六日

關東軍司令官

植田 謙吉

戰車團獨立歩(獨立砲)(工)兵聯隊編成ニ
關スル規定

第一條 本規定ハ戰車團獨立歩(獨立砲)(工)兵聯
隊ノ編成(編制改正)ニ關シ昭和十三年八月十二日軍令陸甲
第五十二號戰車團獨立歩(獨立砲)(工)兵聯隊編成要領^{以下}
^{ト累}陸滿機密第三。號同細則^{以下細則ト累稱ス}ニ據リ難キ事項ノミヲ
規定スルモノトス

第二條 要領第二條ニ據リ編成又ハ編制改正スヘキ
部隊ノ編成地、編成擔任官附表第一ノ如シ

第三條

各部隊ノ編成、編制改正茲稱號變更ハ要領
 第二條ニ據リ昭和十三年八月二十一日ヨリ著手シ成ルヘク速
 ニ完結スルモノトス

第四條

各編成擔任官ハ要領第三條茲細則第三條
 及本規定第五條ノ人馬ヲ以テ第二條ノ部隊ヲ編成(編制改正)
 シ其結果編制定員(數)ニ超過スル人馬ハ當該部隊ノ定員
 (數)外トナシ部隊別階級人員(數)ヲ編成(編制改正)完結
 後十日以内ニ關東軍司令官ニ報告スルモノトス

第五條

編成(編制改正)部隊ノ編成要員トシテ關東

軍司令官ノ特ニ配属スル人員ノ差出區分附表第二ノ如シ
前項人員ハ昭和十三年八月二十一日附轉属スルモノトシ特ニ示
スモノ外成ルヘク速ニ編成擔任部隊ニ到着セシムルモノトス

第六條 獨立歩兵第一聯隊長ハ細則附表第一ニ據
リ滿洲派遣各師團ヨリ配属セラルヘキ兵ノ年次別階級
特業等ニ関スル希望事項ヲ速ニ關東軍司令官ニ報告ス
ルト共ニ關係師團長ニ通報スルモノトス

第七條 細則第四條ニ據リ獨立歩兵第一聯隊及獨立
混成第一旅團工兵隊(工兵第二十四聯隊)ヨリ自動車部隊ニ轉
二

屬スヘキ兵ニ主トシテ昭和十年徵集兵ヲ充當スルモノトシ其
ノ差出時期等ノ細部ニ関シテハ別ニ示ス

第八條 細則第三第四條並本規定第五條ニ依リ
在滿部隊ヨリ轉屬スヘキ人員ハ特ニ示スモノノ外部隊毎ニ
引率者ヲ定メ隊伍旅行セシムルモノトス

第九條 細則附表第三ニ依ル各部隊ノ特(分)業者
及工務兵定員表中變更ヲ要スルモノアルトキハ編成完結後
當該部隊長ヨリ關東軍司令官ニ申請スルモノトス

第十條 細則附表第一ニ據ル配屬馬匹ノ交付ニ関シテ

ハ別ニ之ヲ示ス

第十一條 獨立混成第一旅團ニ現ニ有スル假定數馬ノ

處理ニ関シテハ別ニ示ス

第十二條 細則第三條茲本規定第五條ニ依リ在滿部

隊ヨリ編成(編制改正)部隊又ハ細則第四條ニ依ル自動車部

隊ニ轉属スヘキ人員ノ個人裝備用戰用諸品^{衛生材料ヲ除ク}ハ特ニ示ス

モノ外差出部隊ニ於テ完備ノ上派遣スルモノトス

但シ轉属人員ニ附表第三被服及個人用食器<sup>當居住下ノ
士官兵ニ限ル</sup>ヲ

着裝又ハ携行セシムルモノトス

第十三條 要領第三條第三號ニ據リ建制ノ儘戰車第

四聯隊ニ轉屬スヘキ獨立歩兵第一聯隊輕裝甲車隊ノ現ニ有
スル一切ノ戰用諸品諸物ヲ含ムハ特ニ示スモノノ外其ノ儘著裝又ハ携
行セシムルモノトス

第十四條 編成(編制改正)スヘキ部隊中昭和十三年軍令

陸甲第三十九號ニ據ル臨時動員部隊ノ殘置シタル戰用諸
品ハ特ニ示スモノノ外編成(編制改正)部隊用トシテ充當スルモノ
トス

第十五條 編成(編制改正)部隊ノ所要兵器ハ前條ニ編

成擔任部隊及建制ノ儘編成ニ入ルヘキ部隊ニ於テ現ニ保管
中ノモノヲ以テ充當シ尚不足スルモノハ其ノ管掌區分ニ從ヒ
関東軍野戦兵器(自動車)廠ヨリ之ヲ交付スルモノトス
之カ爲各編成擔任官ハ速ニ附表第四様式ニ依ル所要兵器
過不足表ヲ調製シ関東軍司令官ニ報告スルト共ニ関東軍
野戦兵器(自動車)廠長ニ通報スルモノトス

第十六 條 編成(編制改正)部隊所要ノ兵器用物品ハ編成擔

任部隊又ハ建制ノ儘編成ニ入ルヘキ部隊ニ於テ現ニ保管中ノモノ
ヲ以テ充當シ其ノ不足ハ関東軍野戦兵器(自動車)廠長整備ノ上

之ヲ交付スルモノトス

之カ爲各編成擔任官ハ速ニ附表第五様式ニ依ル兵器用物品
過不足表ヲ調製シ関東軍司令官ニ報告スルト共ニ関東軍
野戦兵器(自動車)廠長ニ請求スルモノトス

第十七

條

編成(編制改正)ノ結果各部隊ニ生シタル過剩兵

器

特別支給資渡
預托ヲ含ム

及兵器用物品ハ之ヲ舊保管部隊ヨリ附表第六

様式ニ依ル返納兵器(兵器用物品)品目員數表ヲ調製シ関東
軍司令官ニ報告スルト共ニ関東軍野戦兵器(自動車)廠ニ返納
スルモノトス

第十八條

編成(編制改正)部隊被服ノ諸定數ハ関東軍

經理規程第二十五條ニ據ルモノトシ縫靴工具ノ定數ハ附表第

七第ハノ如シ

前項ノ被服ハ編成擔任部隊又ハ建制ノ儘編成ニ入ルヘキ部

隊ニ於テ現ニ保管中ノモノヲ以テ充當シ其ノ不足ハ関東軍被

服整理要領ニ據リ関東陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付スルモノトス

第十九條

在滿部隊ヨリ轉属スヘキ人員ノ携帶糧秣ハ

當該差出部隊ノ戰用繰下品(又ハ常用品)ヲ充當シ尚不足スルモノハ最寄関

東陸軍倉庫ヨリ補給ヲ受テ携行セシムルモノトス

第二十條

編成(編制改正)部隊戦用準備糧秣ノ定量
ハ関東軍動員計畫令附表第三ノ如ク編成擔任部隊ニ於テ
現ニ保管中ノモノヲ以テ充當シ尚不足スルモノハ関東軍經
理部ニ補給請求スルモノトス

第二十一條

編成(編制改正)部隊所要ノ陣營具、宿舍家
具、公用行李、給養器具、練習用具、馬匹手入具ハ編成擔任
部隊又ハ建制ノ儘編成ニ入ルヘキ部隊ニ於テ現ニ保管中ノモノヲ
以テ充當シ其ノ不足ハ関東軍經理事務規程ニ據リ関東軍
經理部ニ補給請求スルモノトス

第二十二條

編成(編制改正)部隊ノ衛生材料ハ細則第五條ニ據ルノ外関東軍衛生材料取扱規程ニ據ル醫務室用衛生材料ヲ備附クルモノトス

前項衛生材料ハ各編成擔任部隊ニ於テ現ニ保管中ノモノヲ以テ充當シ尚不足スルモノハ関東陸軍倉庫ヨリ之ヲ交付スルモノトス

之カ爲各編成擔任官ハ速ニ衛生材料ノ過不足表ヲ調製シ
関東軍司令官ニ報告スルモノトス

第二十三條

編成(編制改正)部隊所要ノ獸醫材料及蹄鐵

ハ細則第五條迄関東軍獸醫材料及蹄鐵取扱規程ニ據ル
諸定数ヲ関東陸軍倉庫長整備ノ上之ヲ交付スルモノトス

第二十四條

細則第五條ニ依ル編成(編制改正)部隊所要
ノ戰時諸條規諸勤務令及戰用地圖ノ不足ハ関東軍司令部
ヨリ之ヲ交付ス

各編成擔任官ハ其ノ過不足数ヲ調査シ^{速ニ}関東軍司令官ニ報
告スルモノトス

第二十五條

各編成擔任官ハ編成(編制改正)部隊ノ將校
^{上級職ヲ取ラシムヘキ准士官ヲ含ム}職務命課意見ヲ本規定受領後速ニ附表第

九様式ニ依リ関東軍司令官ニ申請スルモノトス

第二十六條

各編成擔任官ハ編成完結ハ速ニ其ノ完結ヲ

関東軍司令官ニ報告シ且將校^{准士官}職員表及人馬一覽表ヲ附表第九、第十様式ニ依リ速ニ関東軍司令官ニ提出スルモノトス

前項人馬一覽表中ニ役種及兵ニ在リテハ徵集年次ヲ明瞭ナラシムルモノトス

第二十七條

各編成擔任官ハ編成完結後十日以内ニ

編成(編制改正)詳報三通ヲ調製シ関東軍司令官ニ

七

提出スルモノトス

一、編成(編制改正)實施ノ概況

二、將來ニ関スル意見

三、將校^{准士官}職員表並人馬一覽表ヲ附表トシテ

添付スルモノトス

第二十八條 編成(編制改正)ノ爲移動又ハ派遣スヘキ

部隊及馬物件ノ輸送並輸送途中ニ於ケル給養ハ關

東軍野戰鐵道司令官之ヲ處理スルモノトス

第二十九條 本規定第八條ニ依ル隊伍旅行者ノ滿

洲内ニ於ケル旅費ハ陸軍臨時滿洲旅費規程臨時
滿第五表旅籠料定額内實費支費トス
但シ鐵道輸送途中ノ辨當ハ一人一食五拾錢
(茶代シ含ム)ヲ標準トシ實費支辨スル
モノトス

第三十條 編成(編制改正)部隊ノ要員ト
シテ他部隊部隊編成地ヨリ派遣セラルル
營外居住者ノ編成地帶在間ノ給與ハ編
成地到着ノ翌日ヨリ編成完結ノ日マデ
ハ

陸軍臨時滿洲旅費規程臨滿第五表旅費
料定額内實費支辨ニ依ルモノトス

第三十一條 要領 實施ニ伴フ所要經費

ハ各編成擔任官

戰車團隷下部隊長ヨリ

速

ニ關東軍司令官ニ申請スルモ

ノトス

又編成(編制改正)部隊長ハ其ノ既
令達豫算ニ對スル八月末日ノ殘
額ヲ九月五日迄ニ關東軍司令

6640

官ニ報告スルモ
ノトス

九

附則

- 一、要領並細則附則第三號ニ據ル戰車第四聯隊及獨立野砲兵第一聯隊ノ昭和十四年三月ニ於テル編制改正ハ昭和十二年六月三十日關參編第一號昭和十二年在滿軍備改變ニ關スル規定其一二據リ實施スルモノトス
- 二、編成(編制改正)部隊ノ昭和十三年度動員計畫ノ改變ニ關シテハ別ニ示ス

附表第一

編成(編制改正)スハキ部隊編成地、編成擔任官一覽表									
部		隊		編成地		編成擔任官			
第一戰車團司令部	戰車第四聯隊	獨立步兵第一聯隊長				獨立砲兵第一聯隊長			
獨立步兵第一聯隊長		獨立混成第一旅團砲兵隊長				獨立混成第一旅團工兵隊長			
獨立砲兵第一聯隊長		獨立混成第一旅團無線電信教育隊長				獨立混成第一旅團無線電信教育隊長			
工兵第二十四聯隊長		關東軍無線電信教育隊長				關東軍無線電信教育隊長			
備									
一編成地ハ要スレハ編成擔任官ニ於テ軍司令官ノ認可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得									
考									

附表第二

關東軍司令官ノ特ニ配屬スル人員並同差出区分表					
被配屬部隊		配屬人員		差出区分	
獨立歩兵第一聯隊		獸醫尉官	一	騎兵第二十三聯隊	
		獸醫務下士官	一		
戰車第四聯隊		工兵技術准尉	一	獨立歩兵第一聯隊	
備考					
ハ本表中差出区分ヲ示サザルモノハ別ニ之ヲ達ス ニ本表人員ノ官氏名ハ別ニ示ス					

[illegible]

附表第三

轉屬人員，著裝又八攜行被服，品目、員數表

編成(編制改正)部隊所要兵器過不足表

品		區	
目		分	
新兵器表定數			
數定		✓ 保管數	旧兵器表依
數在現			
(足不)過			
(足不)過			
省軍陸	支特	其、他、保管品	
軍	給別		
託預又與貸			
用負動			
(足不)過			

摘要

調製上、注意

一、本表ハ新定数ニ對シ旧定数表ニ依ル現在数ヲ充當シタル過不足並其他ノ保管品ヲ充當シタル過不足ヲ調査スルモノトス

二、定数兵器ニ代用品ヲ充當支給シアル場合ニハ摘要欄ニ附記スルモノトス

三、品目ハ保管兵器全数ニ亘リ漏レナク記載スルモノトス

四、本表ハ銃器、砲兵、彈藥、戰車、輜重兵々器、器械ニ區分スルモノトス

附表第五

兵器用物品過不足表

昭和
部
年
隊
月
日
號

[illegible]

調製上、注意

一、所要數八部隊編成完結時、所要總數ト入

二價格ハ不足ニ對スルモノ就テノミ計上シ單價不明モノハ概價ヲ記入シ

其旨摘要欄に附託スルモノトス

返納兵器品目員數表

昭和二年 月 日 調製
部 係 號

				品 目 區 分	
				返納員數	
				甲	内 譯
				乙	
				丙	
				廢品	
				計	
				摘要	

調製上，注意

一、返納員數八編成(編制改正)ニ當リ實際過剩トナリタル品目員數トス

二 甲ハ其儘戦用ニ使用シ得ルモノ乙ハ加修スレハ戦用ニ使用シ得ルモノ丙ハ程度不良ナルモノ實用ニ支障ナキモノ廢品ハ全ク使用ニ堪ヘサルモノヲ示ス

三、送納品中新品、属品、不足アルモノ其ノ内譯ヲ摘要欄へ記載スルカ又ハ別表トシ

テ添明スルエノトス

四、本表ハ銃器、砲具、彈藥、戰車、輜重兵令器、器材ハ區分スルモノトス

縫工具備付標準表

[illegible]

靴工具備付標準表

品目	管内者	一五〇〇名以上	自一、〇〇〇名至二、五〇〇名	自六、〇〇〇名至七、五〇〇名	自四、〇〇〇名至五、五〇〇名	自二、〇〇〇名至三、五〇〇名	自一、〇〇〇名以下
靴工用八方密針履具	四	—	三	二	二	—	—
密針用履具	四	—	三	二	二	—	—
クロー打機モーター付	一	—	—	—	—	—	—
クロー仕方機モーター付	一	—	—	—	—	—	—
片又危	六〇	—	—	—	—	—	—
足部計放	二〇	—	—	—	—	—	—
鶏目穿孔器	三三	—	—	—	—	—	—
鉄板共	五〇	—	—	—	—	—	—
鉄板切大	五〇	—	—	—	—	—	—
洋釘切大	二五〇	—	—	—	—	—	—
甲底縫製	三〇	—	—	—	—	—	—
打縫製	一〇〇	—	—	—	—	—	—
巻尺	七〇	—	—	—	—	—	—
秤	一	—	—	—	—	—	—
チヤン	一	—	—	—	—	—	—
水盤	六	—	—	—	—	—	—
立作業台(鉄敷付)	六	—	—	—	—	—	—
作業用脚	四〇	—	—	—	—	—	—
曲尺	二〇	—	—	—	—	—	—
磨輪	一五〇	—	—	—	—	—	—
小箱板	一〇	—	—	—	—	—	—
廻轉式釘箱	一	—	—	—	—	—	—
油野式台	一五	—	—	—	—	—	—
草切利	一	—	—	—	—	—	—
張付	八	—	—	—	—	—	—
力鉄車	一五	—	—	—	—	—	—
網箱	三	—	—	—	—	—	—
ベルトパン	一	—	—	—	—	—	—
小單	一	—	—	—	—	—	—

一本表標準数ハ状況ニ依リ増減スルコトヲ得
 ニコロ釘打機コロ仕方機立作業台(鉄敷付)ハ永久設備ノ部隊ニ限リ備付クルモノトス
 ニコロ名望ノ部隊ニ在リテモ靴工兵ノ定員ナキ部隊ハ一〇〇名以下ノモノヲ備付セズ

昭和
閏
年
東
月
日
調
製
軍

第一戰車團司令部

備
 調製上ノ注意
 一 上ノ級職ニ在リテハ(三)正ヲ特別志願將校ニ在リテハ(四)將ヲ兼勤者ニ在リテハ(五)ヲ以テ示
 ス
 二 氏名ノ下ニハ將校實役傳年名簿ニ依ル列次ヲ附記スルモノトス
 三 豫後備役將校ニ在リテハ(豫)又ハ(後)ヲ附スルモノトス

0180

1180



軍事極秘

獨立歩兵第一聯隊編成詳報

獨立歩兵第一聯隊
昭和十三年九月六日調製

編成詳報

一 準備

(イ) 八月拾二日 編正改正要領同細則並ニ関東軍獨立歩兵第一聯隊編成ニ関スル規定ヲ受領ス

(ロ) 翌八月拾六日 大隊長 高級主計 高級軍醫ニ集

メ 編正改正ニ関スル大綱ヲ説明シ 動員主任ヲシテ 各関係者ニ 編正改正準備ニ関スル件ヲ指示セシム

(ハ) 八月拾九日 獨立歩兵第一聯隊編正改正ニ関スル規定ヲ配布シ 所要ノ説明ヲシタル後 準備ニ着手

セシム

(二) 本準備期間上司ヨリ配布セシメシ規定中左記事
 項ニ関シ質疑ヲ生シ經理委員首座ハ島主計
 少佐ヲシテ直接軍司令部ニ照會セシム

左記

一 軍規定第十三條

二 自動車隊ハ轉出セシムヘキ人員、轉出時
 期

(由) 自動車隊要員ノ輸送請求ヲアサシム

ニ編正改正ノ實施

八月二十日

(イ) 戦車第四聯隊ニ轉屬セシムヘキ輕装甲車隊ヲ同日朝
食後轉出、戦車第四聯隊長ノ隷下ニ入ラシム

右轉屬ニ関シ、戦車第四聯隊長ト協議シ、輕装甲
車隊ニ適任ノ准尉一曹長一ノ入レ替ヘラセリ

尚若干日ハ當聯隊ニ於テ起居セシメ、其ノ給養ヲ當隊
ニ於テ擔任スルコトセリ

(ロ) 各隊ハ自動車隊ニ遣人員ノ選定、並ニ遣準備ヲナシ
持ニ材料廠ハ人員並ニ遣ニ伴ヒ解散スルコト、而シテ
テ之ヲ準備ニ忙殺セリ

八月二十二日

(イ) 自動車隊要員下士官ハ軍規定ニ預備役下士官ノミ
ナリシカ現役下士官中ニ將來自動車隊ニ轉屬セシムル
ヲ適當ト認ムルモアリシヲ以テ軍ノ許可ヲ受ケ現役下
士官五名ヲ轉屬セシムルコトセリ

(ロ) 自動車隊要員轉出前ニ在滿師團ヨリ轉入スヘ
キ人員ノ到着ヲ顧慮シ此等人員ノ收容並ニ受
領ニ関シ委員ヲ任命シ之ヲ準備ニ着手セシム

八月二十三日

(ハ) 十四時三十分旅團司令部ニ於テ旅團解散式ヲ舉

行セラル

(四) 十五時三十分自前軍隊要員ニ對シ訓示ヲ行フ右部隊ノ輸送計更到着ス

(ハ) 獨立歩兵第一聯隊編正改正ニ関スル規定中規定編纂時ニ規定シ能ハサル事項ヲ逐次指示ス

(ニ) 左ノ如ク在滿師團ヨリ轉屬セルヘキ人員到着日次ノ通報アリ

第七師團 二十六日十八時到着

第四師團 三十日十八時

第二師團 三十日

第二師團 二十六日

第一師團 二十六日

八月二十四日

(イ) 自動車隊要員ハ十二時三十分列車ニテ栗原准尉
ノ引率ヲ以テ出發セシム

(ロ) 歩兵砲隊速射砲隊ヨリ聯隊内他隊へ轉屬セシムヘキ人
員ノ轉屬ヲ實施ス

(ハ) 歩兵砲、速射砲ノ主管者ヲ實施ス

八月二十五日 雨

(ニ) 輕裝自動車隊戰車第一聯隊へ移轉ヲ見テス

(マ) 第二師團ヨリ轉屬人員十八時公主嶺驛ニ到着シ十九時半兵營ニ到着之ヲ受領シ各中隊ニ假配當ス

八月二十六日雨

(イ) 自動車並ニ工具類ヲ加藤部隊ニ引継ヲ了ス

(ロ) 第二師團ノ轉屬人員十七時半到着セシヲ以テ之ヲ假配當ス

(ハ) 通信隊ニ聯隊内ヨリ轉屬スヘキ人員ノ轉屬ヲ了ス

八月二十七日

(イ) 既ニ到着セル西師團ノ人員配屬ヲ實施ス

(ロ) 十六時ヨリ第一師團ヨリ轉屬人員ノ配屬ヲ決定ス

八月三十日

第二師團、第四師團、轉屬人員到着ス

八月三十一日

前日到着セシ第二師團人員ヲ中隊ニ配屬ス

九月五日

第七師團、兵到着シ之ヲ中隊ニ配當ス

九月六日

他師團ヨリ轉屬者全員ニ對シ訓示ヲ與フ

將來ニ関スル意見

一 編制表ニ就テ

の主計ノ定員ニヲ四ニ主計下士官ヲ五トシタシ

理由 出勤ニ際シ聯隊本部ノ外ニ主計一、主計

下士官一ヲ各大隊ニ配屬必要アリ

(2) 高級主計ニ乗馬一頭ヲ加ヘラセシ

理由 宿營、補給、給養、調練等高級主計ノ敏

活ニ行動ヲ要スルモノアレハナリ

(3) 機関銃中隊將校四名ヲ五名トセラレ度シ

理由 機関銃中隊ハ機関銃小隊四個、大隊砲小隊

一個ヲ編成セハ將校一名不足ス

(4) 歩兵砲大隊ヲ聯隊砲中隊ニ隊、速射砲中隊

一隊トセラレタシ

二、分特業者工務兵定員表中、擲彈筒手ニ四ヲニセニセラレ

度ニ

三、兵器定数表中訓練並ニ出勤時ノ編成ニ不足ヲ来スヘシト

思惟セリ、モナルモ更ニ研究ノ上報告ス

四、公用行李給養器具定数表中

(1) 大行李炊具ヲ十五組加ヘラレタシ

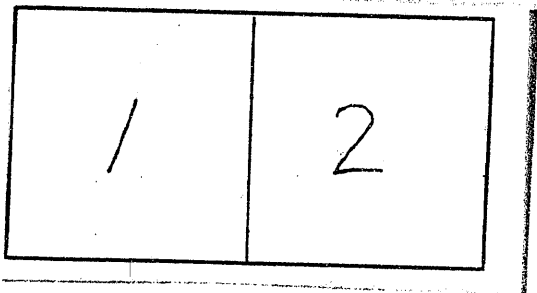
並ニ炊事自動車返納ノ為從來炊具ノ備付ナキ為

獨立部隊トシテ必要アリ

附表目次

- 第一 將校、准士官、職員表
- 第二 人馬一覽表
- 第三 轉屬兵年次、階級、持業別一覽表
- 第四 轉入者受刑(懲)罰者一覽表

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 8 年 12 月 11 日 主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 	

附 表 第 一

獨立歩兵第一聯隊將校各部將校准士官
(上級職官) 職員表

昭和十三年九月二日

聯 隊 長										聯 隊 副 官										聯 隊 中 隊 附										聯 隊 大 隊 附									
大 佐 名 倉 栗 (26)										少 佐 竹 内 良 一 (54)										少 佐 中 和 一 郎 (31)										少 佐 山 崎 善 一 郎 (31)									
大 隊 副 官										大 隊 中 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 中 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									
大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附										大 隊 大 隊 附									

考	備	中 隊 長										軍 醫		
一、○印ヲ附セルハ戦傷ノタメ内地送送中ニシテ現在不在者トス 二、本表ノ外少尉候補者トシテ士官学校ニ入校中ノ在尉四名アリ 三、氏名ノ上ニ正ト記載シアルハ上級ノ職務ニ充當スルモノヲ示ス 四、特ハ特別志願士官ヲ示ス 五、氏名ノ下ニ記シアル数字ハ停年名簿上ノ列次ヲ示シ()ヲ附セルハ停年名簿調製後進級セルモノニシテ進級前ノ列次ヲ示シアリ 氏名ノ下ニ数字ナキモノハ停年名簿調製後進級セルモノナリ 六、正ハ豫備後將校ヲ示ス		大 尉 吉 田 洋 三 同 伊 藤 留 松 同 東 藤 民 一 同 漆 畑 三 次 同 首 藤 鶴 吉 郎 中 尉 伊 藤 久 次 郎										大 尉 永 嶋 成 春 中 尉 加 老 佐 正 醫 尉 官 欠 二		
		大 尉 相 澤 政 之 中 尉 込 山 進 中 尉 林 義 男 中 尉 岩 本 住 雄 中 尉 寒 川 茂 水 同 稻 田 信 次 同 國 武 利 男 同 桃 坂 正 策 中 尉 松 波 新 平 中 尉 吉 田 久 次 郎										大 尉 八 一 中 尉 八 一 主 計 尉 官 一 軍 醫 尉 官 三 校 術 准 尉 一 計 一 四 名		

附表第三

9280

特 業 階 級 年 次										
計	無 特 業	蹄 鉄 工 兵	輕 機 手	大聯隊 砲觀測手	大 隊 砲 手	聯 隊 砲 手	速 射 砲 手	火 工 兵	有 (無線通信手	瓦 斯 兵
一五	三		三	一		五				三
五〇	一八	一	七		三	一二	二	一	二	四
六五	二一	一	一〇	一	三	一七	二	一	二	七
三	一					一			一	
四八	一三	一	六	二	二	一五	一	一	三	四
五一	一四	一	六	二	二	一六	一	一	四	四
一一六	三五	二	一六	三	五	三三	三	二	六	一一
										合計

特入兵年次、階級、特業別人員一覽表(第一師團)
 昭和十一年徵集兵
 昭和十一年徵集兵
 合計

備考、
（一）ヲ附シアルハ初年兵ヲ示ス

[illegible]

轉入兵年次階級特業別人員一覽表(第四師團)										
特 業 年 次	上等兵	一等兵	計	上等兵	一等兵	計	上等兵	一等兵	計	合 計
瓦 斯 兵	二	二	四							八
有(無線通信手)	一	一	二		五	五				七
火 工 兵		一	一		一	一				二
速 射 砲 手		一	一		三	三				四
聯 隊 砲 手	一	一	二	四	二	六				三〇
大 隊 砲 手	一	二	三		五	五				八
大隊砲 觀測手		一	一	三	一	四				五
輕 機 手		一	一	一	三	四				五
蹄 鉄 工 兵					二	二				二
無 特 業	一〇	一五	二五	一	一九	二〇				四五
計	一五	二五	四〇	九	六七	七六	一一六			一一六

轉入兵年次、階級、特業別人員一覽表(第七師團)												
特業	年次	階級	昭和十一年徵集兵				昭和十一年徵集兵				合計	
			上等兵	一等兵	二等兵	計	上等兵	一等兵	二等兵	計		
瓦斯兵		一		六		七		一		二	三	一〇
有(無線通信手)				三		三					二	五
火工兵											一	一
速射砲手		一				一					一	二
聯隊砲手												
大隊砲手											六	六
大隊砲觀測手											三	三
輕機手		三		二三		二六		二	一一	一三	三九	三九
蹄銃工兵				一		一			一	一	二	二
無特業		四		一七		二一		二	二五	二七	四八	四八
計		九		五〇		五九		九	四八	三七	一一六	一一六

附表第四

轉入者ニシテ受刑(懲)罰者調査表

罰目	期間	部隊別	年次	階級	人員
窃盗罪	懲役三年六月	歩三四	昭二	歩一	一
無断拳銃ヲ取リ出シ過失傷害等直 接ノ原因ヲ作スルニヨリ	重懲倉三日	昭二	昭二	歩一	一
茶一離隊シ飲酒酩酊ト上市街 ヲ放浪シ翌日収容入	重懲倉七日	昭二	昭二	歩一	一
歸營時間ニ遅ル	重懲倉五日	昭二	昭二	歩一	一
傷害罪	懲役三月	歩七〇	昭二	歩一	一
右同	同四月	昭二	昭二	歩一	一
窃盗罪	懲役三月	歩二九	昭二	歩一	一
兵器被服ニ毀損焼失ニヨリ	重懲倉十日	昭二	昭二	歩一	一
脱逃罪	重懲倉五日	歩一四	昭二	歩一	一
兵器紛失シ長期ニ亙リ隠蔽シ ル	重懲倉十日	歩一八	昭二	歩一	一
花柳病ノ預防規定ヲ嚴守セス ル	重懲倉二日	昭二	昭二	歩一	一
同僚ト口論爭鬭シ相手ニ打撲 傷ヲ與フ	重懲倉十日	歩五七	昭二	歩一	一

備考 一書類未到着ノ聯隊ハ本表ニ記載セラス

附
録
第
一

獨立歩兵第一聯隊編成改正ニ関スル規定

昭和十三年八月十九日
獨立歩兵第一聯隊調製

公歩動發第一三五號

獨立歩兵第一聯隊編成改正ニ関スル規定
本冊ノ通り定ム

昭和十三年八月十九日

獨立歩兵第一聯隊長

名倉

稜

第一章

總則

第一條 本規定ハ軍令陸^甲第五十二號獨立歩兵

聯隊編制改正要領並ニ陸滿機密第三十號獨

立歩兵聯隊編制改正要領細則並ニ關東軍獨

立歩兵聯隊編成ニ関スル規定ニ基キ獨立歩

第一聯隊ノ編制改正ニ関スル事項ヲ規定ス

第二條 前條ニ依ル編制改正ハ八月二十一日

ヨリ着手シ十月~~廿~~廿日完結スルモノトス

第三條 聯隊カ旅団ノ隷下ヲ離シ軍直轄トナ

ル時期並ニ附表第一ノ如ク名稱ヲ変更スル
 時期ハ^{八月二十四日}締制先結ノ時機トス
 第四條 締制改正ニヨリ締成スヘキ部隊ノ締
 成委員附表第二ノ如シ

第二章 編制、裝備

第五條 獨立歩兵第一聯隊(以下聯隊ト略稱ス)
ノ編制附表第三ノ如シ但シ當分ノ間聯隊ハ
第四第十二中隊及ヒ第二大隊ヲ缺クモノト
シ之カ補填ニ関シテハ別ニ指示セラル、モ
ノトス又已ムヲ得サレハ一時編制定員數ノ
一部ヲ缺クコトヲ得過剩トナル者ハ一時定
員數外ト爲シオクコトヲ得

第六條 特(分)業者及ヒ工務兵ノ定員附表第四

ノ如シ

第七條 兵器定数表行李給養器具定数表縫靴
 工具定数表衛生材料獸醫材料定数表戰時諸
 條規諸勤務令携行区分戰用準備糧秣ノ定量
 附表第五乃至第十ノ如シ

第三章 編制改正ノ實施

第一款 人員

第八條 編制改正ニヨリ他隊ヨリ聯隊ニ配屬

セラルヘキ人馬並ニ該人員配屬區分附表第

十一ノ如ク其ノ到着日次表配屬ハ別ニ指示ス

第九條 聯隊ヨリ他隊へ轉屬セシムヘキ人員

差出區分表第十條ノ如シ

第十條 前條人員ノ轉出時期場所ハ別ニ指示

スルモ引率者ヲ定メ隊伍旅行ヲ以テ被配屬

部隊ニ至ラシムルモノトス該人員ノ個人装
 備用戰用諸品(衛生材料ヲ除クハ聯隊ニ於テ
 完備セシメ被服個人用食器ノ着装又ハ携行
 五分附表第十三ノ如ク(軍規定第十四條)携帶糧
 秣ハ戰用品繰下品又ハ常用品ヲ充當シ不足
 スルトキハ關東陸軍倉庫ヨリ補充ヲ受ケ携
 行セシムルモノトス

第十一條 輕裝甲車隊ハ八月二十一日朝食後
 出發シ戰車第四聯隊ニ至ルモノトス而テ輕
 裝甲車隊ノ現ニ有スル一切ノ戰用諸品(諸物

右

品ヲ含ムハ其ノ儘著装又ハ携行セシムルモ

ノトス其ノ品目員数附表第十四ノ如シ

第十二條 隊内ニ於ケル人員ノ轉屬区分附表

第十五ノ如ク之カ取扱ハ尤ノ各項ニ據ルモ

ノトス

其一 轉屬期日ハ八月二十日^{四十三}日九時トス但

シ通信隊要員ノ期日ハ別ニ示ス

其二 給料ハ八月^{第二}旬分迄原所屬ニテ支給

其三 兵器被服八個人支給ノモノハ全部携

行ス

第二款 兵器及同物品

第十三條 编制改正ノ爲所要兵器並ニ兵器用物品ハ聯隊ニ於テ現ニ保管中ノモノヲ以テ充當シ尚不足スルモノハ速ニ附表第十六、十七様式ニ依ル所要兵器不足表ヲ關東軍司令官ニ報告ノ手續ヲトルモノトス(軍規定第十五條)

第十四條 编制改正ノ結果生シタル過剩兵器

(特別支給貧疫預托ヲ含ム)及ヒ兵器用物品ハ

之ヲ附表第十八第十九様式ニ依ル返納兵器
 兵器用物品品目員数表ヲ調制シ関東軍司令
 官ニ報告ノ手續ヲトルト共ニ関東軍野戦兵
 器(自動車)廠ニ返納ノ手續ヲトルモノトス

(軍規定第十七條)

第十五條 聯隊内ニ於テ支給換ヘヲ要スル兵
 器ノ處理ニ関シテハ兵器委員之ヲ規定スル
 モノトス

第三款 被服糧秣其他ノ諸品

第十六條 被服ノ定数ハ関東軍經理規定第二十五條ニヨル該被服ハ聯隊ノ現ニ保管中ノモノ及ヒ他隊ヨリ轉屬セル者ノ携行セルモノヲ以テ充當シ其ノ不足ハ関東軍被服整理要領ニ依リ関東陸軍倉庫ヨリ交付ヲ受クルモノトス

第十七條 編制改正後ニ於ケル聯隊戰用準備糧秣ノ定量ハ^{附表第十ノ}関東軍勤員計畵令附表第三ノ如ク^{用表第十ノ}記糧秣ハ現ニ保管中ノモノヲ以テ充當シ尚不足スルモノハ関東軍經理部ニ補給

請求スルモノトス

第十八條 编制改正後聯隊所要陣營具宿舎具
公用行李給養器具練習用具馬匹手入具ハ聯
隊ニ現ニ保管中ノモノヲ充當シ其ノ不足ハ
関東軍輕理規定ニ據リ関東經理部ニ補給請
求スルモノトス

第十九條 本款前各條ニ示ス諸品ノ聯隊内ニ
於ケル支給換ノ細部ニ関シテハ各関係者之
ヲ規定スルモノトス

第二十條 戰時諸條規諸勤務令ノ過不足ヲ生

シタルトキハ關東軍司令部ニ報告シ受領ス

ハ返納ノ手續ヲ取ルモノトス

第二十一條 燃料脂油車輛用練習用具等ノ處
置ニ関シテハ別ニ指示セラル

第四章 馬匹

第二十二條 第八條ニ依ル配屬馬匹ノ交付ニ

関シテハ別ニ指示セラル

第二十三條 聯隊ニ現ニ有スル假定數馬ノ處

理ニ関シテハ別ニ指示セラル

第五章 經費

第二十四條 編制改正實施ニ要スル經費ハ臨時軍事費支辨トス

第二十五條 編成ノ爲ノ輸送ニ関シテハ昭和十二年陸支密第一五六二號ヲ準用スルモノトス

第二十六條 本規定第十條隊伍旅行者ノ滿洲内ニ於ケル旅費ハ陸軍臨時滿洲旅費規程臨時第五表旅籠料足額内實費支辨トス但シ鐵道

トス

第五表 旅籠料足額内實費支辨トス但シ鐵道

第五表 旅籠料足額内實費支辨トス但シ鐵道

第五表 旅籠料足額内實費支辨トス但シ鐵道

輸送途中ノ辨當ハ一人一食五十錢(茶代ヲ含ム)
ヲ標準トシ實費支辨スルモノトス

第二十七條 聯隊ノ要員トシテ他部隊(在歸成
地)部隊ヲ除クヨリ派遣セラル、營外居住者
ノ歸成地滞在間ノ給與ハ歸成^地到着ノ翌日ヨ
リ歸成完結ノ日マテ臨時滿洲旅費規程臨滿
第五表旅籠料定額内實費支辨ニ依ルモノト
ス

第二十八條 高級主計ハ歸制改正ニ伴フ所要

第一

追補

自動車部隊要員八月二十四日午前出發
 鉄嶺兵站自動車隊ニ至ルモノトス

經費ヲ速ニ関東軍司令官ニ申請ノ手續ヲト
 ルモノトス又既令達予算ニ對スル八月末日
 ノ發額ハ九月五日迄ニ関東軍司令官ニ報告ノ
 手續ヲトスモノトス

附表目次

附表第一	名稱變更一覽表
附表第二	新編成部隊編成委員命課表
附表第三	獨立步兵第一聯隊編成表
附表第四	特(分)業者工務兵定員表
附表第五	獨立步兵第一聯隊兵器表
附表第六	器材定數表
附表第七	公用行李給養器具定數表
附表第八	縫靴工具定數表

附表第八

衛生材料及獸醫材料定數表

附表第九

戰用準備糧秣定數表

附表第一〇

戰時諸條規、諸勤務令携行區分表

附表第一一

他隊ヨリ配屬セラルヘキ人馬一覽表

附表第一二

聯隊ヨリ他隊ニ轉屬セシムヘキ人員差出區分表

附表第一三

他隊配屬者ノ着裝携行品目員數表

附表第一四

輕裝甲車隊携行品目員數表

附表第一五

聯隊内ニ於ケル人員轉屬區分表

附表第一六

兵器不足表樣式

附表第一七

兵器用物品不足表樣式

附表第一八

運納兵器品目員數表樣式

附表第一九

運納兵器用物品品目員數表樣式

附表第一

名稱變更一覽表

考 備	速 射 砲 隊	步 兵 砲 隊	第 九 中 隊	第 八 中 隊	第 七 中 隊	舊 名 稱	新 名 稱	摘 要
	モノトス	第二歩兵砲中隊	第一歩兵砲中隊	第十一中隊	第十中隊	第九中隊	第十中隊	

舊名稱各隊長ハ別名ナク新名稱ノ各隊長

機
上

附表第二

新編成部隊編成委員命課表

委員長

陸軍歩兵中佐 田中和一郎

委員

歩兵砲大隊本部

陸軍歩兵少佐

恒吉常道

第一歩兵砲中隊

同

大尉

榎丸純人

第二歩兵砲中隊

同

同

宮武政次郎

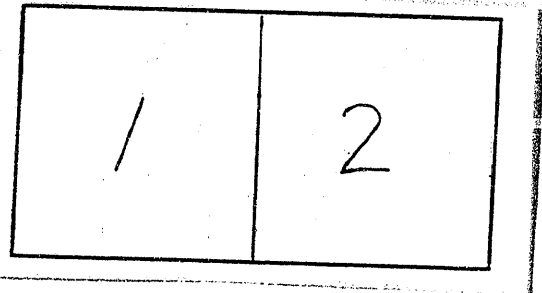
通信隊

同

同

山野邊榮吉

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する	
8 年 12 月 11 日	
主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 	

アジア歴史資料センター

0852

考

(一) 大隊八四中隊、一機関銃中隊ヨリ
(二) 聯隊本部書記ノ内一名ハ暗號掛トス
(三) 大隊本部曹長、軍曹ノ内三名ハ書記、一名ハ炊事掛ノ分課トス
(四) 中隊、機関銃中隊、步兵砲中隊、通信隊軍曹、伍長ノ定員ハ全部ヲ合シ軍曹百十一名
伍長七十五名トス
(五) 中隊步兵砲中隊上等兵ノ内四名、機関銃中隊上等兵ノ内五名、通信隊上等兵ノ内三名ハ
伍長勤務トス
六) 衛生兵ノ定員ハ、衛生上等兵、司一、三、衛生兵各半數トス

アジア歴史資料センター

獨立歩兵第一聯隊特(分)業者及工務兵定員表

部 隊 分 業 区 分	獨立歩兵第一聯隊										特業及工務兵			
	通信隊		歩兵砲隊		機關銃中隊		中隊		輕機關銃手		斯以		瓦刺	
	無線通信手	通信手	連射砲手	聯隊砲手	大隊砲手	機關銃手	小銃手	其他	擲彈筒手	其他	兵手	斯以	瓦刺	無線觀
	(一)	(二)	(一)	(二)	四二	其他			二四	四八	手	信	通	線
	八	二	六	四	六	四	六				手	測	水	自
			二	六	四						(兵)手	工車	動	鍛
				八	四						(兵)手	工	石	砲
			二	二	二						手	工	機	砲
四											手	工	火	銃
			二	二	二	六	六				兵	工	鉄	蹄
	二		二	二	二	二					兵	工	縫	裝
	二		四	四	四	四					兵	工	其	他
	二		四	四	四	四					兵	工	其	他

備考
一、分業人員欄中括弧ヲ附セルハ比率トス
二、擲彈筒手ハ小銃手ノ兼務トス
三、火工兵、蹄鉄工兵ハ兵ノ定員中ニ其他ノ工務兵ハ一(三)等兵定員中ニ含ムルモノトス
四、本表ノ区カニ依リ難キトキハ關東軍司令官ニ於テ其ノ若干ヲ變更スルコトヲ得
五、本表ノ定員ハ各當該修業者ヲ含有シ二年兵初年兵概テ半數ニトス

附表第五

獨立歩兵第一聯隊兵器表

品名	區分	連隊		中隊		小隊		班		計
		本隊	附屬	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊	第五中隊	第六中隊	
三十二年式軍刀	乙	六		二		二		一		六
三十年式銃剣		一三		一六	一七	一五	二九	六		三、二五九
三八式歩兵銃				一六	八九	七九	一一	三二	四九	二、七四五
三八式携帶機銃				一六	九	八	一一			二四六
十四年式拳銃				二七	三〇	二一			四七	五〇三
十年式擲彈筒		一			一					一〇
八九式重擲彈筒				九						一〇八
十一年式輕機関銃				九						一〇八
三脚架	乙			九						一〇八
空砲銃				九						一〇八

3

[illegible]

0859

九四式三 十七托砲 用十三号 式駱馬具	砲身用	脚及器具類用	格架及車輪用	砲架用	八九式雙眼鏡	九三式雙眼鏡	九三式砲隊鏡	九三式五十口径觀測鏡	九三式野戰推測遠器	刀剣附刃器	喇叭	大隊旗	木一ノ浮秤 重量	八九式重砲 彈筒彈架 九四式重砲 彈筒彈架
					二					五七			各一	
					一			一			一	一		
						九		一			四			四八
					一	一〇	二	二	二		四			
			二	三	二	七	二	二	二		四			
											二			
											七〇			
					一六	一五二	一	一六	一〇	五七	一四四	四	各一	五七六

0980

職工具屯管		八九式重擲彈筒彈藥箱	手榴彈彈藥箱	小銃彈藥箱	擲彈筒用彈藥				山砲用藥馬具	四一式空砲箱組	十年式擲筒彈藥用馬具手榴彈(彈筒)	區分
銃工具	鋸工具				九四式三 十七粒砲	九二式 榴彈筒	九二式 榴彈筒	九二式 榴彈筒				
四	三	二〇	一六	一一七								聯隊大隊(步兵)
												本隊大隊(步兵)
		六	五								三	一中隊
						一四						一中隊
					四〇		一	二	一	四		一中隊
												一中隊
												一中隊
												一中隊
四	三	九二	七六	一一七	八〇	四二	二四	四八	一	八	三六〇	計

1980

職工具													
携行										光燈用			
鞍工具										鞍工具			
輜重車工具										輜重車工具			
獨立步兵聯隊器材										一	一		
三九式輜重車 甲										一	一		
十五年式輜重用 一般用 乙										一	一		
十五年式輜箱用 甲										三	三		
馬具 載箱用 甲										三	三		
携帶 帶 燈										二	二		
輜重 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬 紫馬										二	二		
紫馬 紫馬													

豫 備 環 木	目 分		聯 隊 大 隊 中 隊 一 中 隊	一 機 関 一 歩 兵 一 通 隊	豫 備	聯 三 大 隊 三 機 関 中 隊 一 歩 兵 一 通 信 隊 計
	本 部 隊 本 部	本 部 隊 本 部				
一、九二式歩兵砲彈藥箱ハ素箱（ハ發入）ヲ以テ代用スルコトヲ得						
二、手榴彈箱、八九式重砲彈藥箱ハ素箱ヲ以テ代用スルコトヲ得						
三、本表ノ外十年式擲彈筒用信號彈若テハ備附スルコトヲ得						
四、四一式小砲駄馬具砲身用ハ大架用ヲ以テ代用スルコトヲ得						
五、獨立歩兵聯隊器材ノ定数ハ附表第三篇表其ニ準ルモノトス						
六、聯重用十五年式駄馬具一般用乙八五年式聯重駄馬具ニ以テ代用スルコトヲ得						
七、送付交付ニ関シテハ、要務委員指示スヘシ						

附表第五屬表

獨立步兵第一聯隊器材定數表

材 器 信 通										品 目	員 數	摘	要
操 出 線 掛	呼 子 笛	九 二 式 小 終 車 用	九 二 式 小 接 續 線	九 二 式 小 被 覆 線 接 續 器	九 三 式 輕 被 覆 線	九 二 式 小 被 覆 線	九 三 式 八 回 線 交 換 機	九 三 式 輕 電 話 機	九 二 式 電 話 機	九 三 式 西 平 鉄 條 鉗	一 九 〇		
一 〇	三 〇	八	三 〇	五 〇	四 〇 卷	六 〇 卷	二	一 五	二 四				

獨立步兵第一聯隊器材定數表

0864

品 目												頁 数	摘 要
手 旗	九二式携帶同光機	材 通 信 器 具 箱	小 乾 電 池 輕	油 差	儀 中 電 壓 電 流 計	小 革 胴 丸	大 革 胴 丸	九二式延線器	絡 車 提 子	九三式輕線卷匡	九二式小線卷匡	九二式小絡車	
一〇	八	一六	八	五	六	四〇	二〇	一五	二四	六	一四	六八	

0865

測 量 器 材						信 通 器 材							
一 米 折 尺	十 米 卷 尺	携 帶 測 遠 器	六 倍 雙 眼 鏡	九 二 式 兵 形 雙 眼 鏡	垂 球	標 柱	九 三 式 夜 光 羅 針	携 帶 測 角 器	九 二 式 望 遠 測 角 儀	九 四 式 六 號 無 線 機	九 四 式 五 號 無 線 機	字 號 布 板	軍 旗
二 二	二 〇	九	一 五	二 四	一	二	一 八 〇	二	四	一 二	六	二 〇	二 四

9980

材 器 工 土										材 器 計 測			品 目
約	經	短	長	方	鴿	十	小	圓	小	九	小	計	
	始	鉄	鉄	鴿		字	十		圓	二	刻	算	
繩	繩	挺	挺	薙	薙	鉄	鉄	匙	匙	式	板	尺	
										経	測	天	
										路	量		
九	一	四	一	八	二	三	四	八	一	三	一	一	数
													摘
													要

4980

紐	鉸	小	尺	小	中	錄	錄	鉈	鉈	小	斧	大	約
附		燕	三	山	山								
小		尾	模	鋸	鋸	刀被附	鞋附	刀被附	鞋附		刀被附	鋸	棍
刀	鋸	鋸	鋸	附	鋸					斧			
六〇	五	一〇	四	三三	四〇	一〇	一四九	四六	四一	六七	一三	一〇	一八

8980

材 器 明 照										材 器 工 木										品
カ	カ	大	隠	丸	小	鋸	青	荒	小	大	目	鏡								目
ー	ー	ア	顯	二	は				金	目										目
バ	バ	セ	ア	式	人	目			剛	立										目
イ	イ	チ	セ	隱	カ															目
ド	ド	レン	チ	顯	カ															目
箱	罐	燈	燈	燈	燈	釘	砥	砥	砥	鏡	振	挾								目
																				員
一	八	一	一五	四〇	五	六〇	五	二	一	一四	一三	一四								数
																				摘
																				要

材	器	雜	器材	寫真	器材	警備	器材	照明					
三 號 隔 板	= 號 隔 板	一 號 隔 板	器具 罐 下敷附	器具 罐 蓋附	小 油 入	長 符 造 網	寫 真 引 伸 具	携 帶 寫 真 具	携 帶 音 響 報 機	小 音 響 報 機	九 七 式 三 十 握 探 照 燈	九 二 式 微 光 燈	一 號 携 帶 電 燈
三 組	一 〇	八	二	二 四	三	四 八 五	四 組	四 組	一 五	四	四 七	一 二 〇	一 三

0480

考	備	材 器 雜								品
		襦	器	一	七	五	三	二	一	
一、本器材ハ不制式品ヲ以テ代用スルコトヲ得 二、返納、交付ニ関シテハ兵器委員指示スヘシ		中	具	方	方	號	號	號	號	目
		計	籠	罐	罐	袋	袋	袋	袋	頁
		三	一六	一〇	三	四七	八	五	一二	数
										摘
要										

附表第六

公用行李給養器具定数表

備考	計	通信隊	歩兵砲大隊			大隊			聯隊本部				部別	品目
			中隊三箇	本部 通信隊官	本部	機関銃中隊	中隊四箇	本部 通信隊官	本部	獣医尉官	軍医佐官	主計佐尉官		
一本表ハ聯隊本部、大隊三個、歩兵砲大隊一個、通信隊一個トシテ定数ヲ示ス	六一	二	四	一	二	二	八	一	三	一	一	三	五	公用行李 李乙
		二	七				四					一〇		計
	三											三		公用行李 李甲
	六四		七				四					一三		合計
	三六	二	四			二	八							九七式 布囊
	一八	一	二			一	四							九七式 布囊
	三								一					布囊
	三								一					打込作 井機
														摘要

縫
工
具
備
付
標
準
表

アジア歴史資料センター

靴
工
具
備
付
標
準
表

アジア歴史資料センター

附表第八

衛生材料及獸醫材料定数表

品目	部隊		部隊本部	大隊	歩兵砲大隊	其他	摘要
	一、三號	一乃至四號					
担架(具)	二	八					
軍医携帶囊(具)			軍医將校ノ定員ニ同シ				
一医療囊(具)			衛生下士官ノ定員ニ同シ				
繃帶囊(具)			衛生兵ノ定員ニ同シ				
隊瓦斯医扱(具)						五	
軍医將校ノ定員ニ同シ							
衛生下士官ノ定員ニ同シ							
衛生兵ノ定員ニ同シ							
甲獸医行李(具)							
乙獸医行李(具)							
獸医携帶囊(具)							
馬療囊(具)							
野戰蹄鉄工具(具)							
蹄鉄工兵ノ数ニ同シ							
化兵獸医行李(具)							
化兵症囊甲(具)							
化兵症囊乙(具)							

備考

一、本表ノ外將校以下各人一箇宛繃帶包及除毒包ヲ
携帶スモノト
二、本表ノ外各部隊附衛生下士官、兵ノ背囊ニハ吳氏副
木四枚三角巾十枚ヲ入組ムモノトス

附表第九

戰用準備糧秣定数表

尋常糧秣					携帶糧秣					區分
馬糧	糧食				馬糧	口糧				分
大麥	粉醬油	罐詰肉	精麥	精米	大麥	食鹽	罐詰肉	乾パン	精米	品種
五二五〇瓦	一五五瓦	一五〇瓦	二〇〇瓦	六四〇瓦	二六二五瓦	一〇瓦	一五〇瓦	六九〇瓦	八五五瓦	一人一日量
五日數ニ對スル分	五日同	一日數ニ對スル分	五日同	五日數ニ對スル分	一日數ニ對スル分	一日同	一日同	一日同	一日數ニ對スル分	準備量
	石		石			石	二分	石		摘要
								一捆ニ充タサル端數ハ切上タルモノトス		

附表第十

戦時諸係規諸勤務令携行区分表

戰時諸係規諸勤務令携行区分表							
種	類	員数	種	類	員数	摘	要
陸軍動員計更令 及同 細則		一	野戰糧秣勤務令		一		
年度動員計更令 細則		一	飲道輸送諸部勤務令		一		
戰時諸係規 定数表		一	物資蒐集部勤務令		一		
戰時經理部勤務令		三	野戰本倉庫勤務令		一		
戰時衛生勤務令		四	関東軍勤務令		一		
戰時獸醫師勤務令		一					
戰時補充令		一					
戰時野戰醫務補充令		一					

一 本表ノ外必要ニ應シ陸軍成規類聚陸軍電信符號及戰時必要ナル諸係規ヲ携行スルモノトス

二 本表ニ示ス名稱ニテ勤務令ノ制(改)定ニ依リ其名稱ニ差異ヲ生ズル時ハ新勤務令ノ名稱ニ依ルモノトス

三 本勤務令中戰時編成ノ改定ニ伴ヒ制(改)定セラレキモノ之力制(改)定適當相當ノ現行勤務令ヲ準用スルモノトス

考 備

[illegible]

他隊轉屬人員特業別区分表

考 備	計	木工兵	自動車手	装工兵	縫工兵	電気工手	機工手	発動機工手	鍛工兵	喇叭手	特業		本隊	第一三四兵隊	第一七三兵隊	第一七四兵隊	第一七五兵隊	第一七六兵隊	第一七七兵隊	第一七八兵隊	第一七九兵隊	第一八〇兵隊	計
											材	材											
一、本表人員ハ三年兵ヲ充當スルモノトス 二、自動車手中ニ三年兵上等兵ハ全部人員モノトス 三、本表人員中ハ入院其他不在者ハ充當セズモノトス 四、歩外輕裝甲車隊ハ中隊以下人員工兵技術士計ハ戰車第四師團ニ移下士官三電士一兵計自動車隊ニ轉屬スモノトス	11		11								材												
	32	1	30		1						1												
	14		12	1						1	2												
	17			1		2	2	8	4		材												
	19		18						1		2												
	30	2	24	2	1					1	3												
	14					2	1	8	3		材												
	2			1					1		1												
	32		30		1					1	1												
	29		15			2	1	8	3		材												
	34	1	32							1	7												
	2			1					1		8												
	27	1	10	1	1	2	1	8	3		材												
	33		30	1					1	1	9												
	1			1							3												
	29		14		1	2	1	8	3		材												
	17	1	16								15												
	21		20	1							21												
	1									1	2												
	25		8	1	1	2	1	8	4		材												
	4		4								2												
	30		29							1	3												
	30		12	2	1	2	1	8	4		材												
	4		4								3												
	32	1	30							1	8												
	28		11	1	1	2	1	8	4		材												
	518	7	360	14	8	16	9	64	32	8	計												

品目		員数	編成(編成改正)部	自動車部隊轉屬	摘
軍	帽	1			
略	帽	1			
鐵	帽	1			
夏(冬)	衣	2			
夏(冬)	襦袢袴下	2			時服ニ依ルモノトス
襪	下	2			
靴	靴	3			
編	靴	2			
管	靴	1			
卷	靴	1			
軍	隊	1			
背	囊	1			
背	囊	1			
雜	盒	1			
飲	筒	1			
携	帶	1			
被	服	1			
認	識	1			
防	毒	1			
防	塵	1			
手	外	1			
作	業	1			

所収第十四、其の一

輕裝甲車隊ノ携行兵器品目員数表

品目	員数	摘
三十二年式軍刀乙	四	
三十年式銃劍	八	
三十八式騎銃	四	
騎銃携帶豫備品	四	
十四年式拳銃	五	
十年式信號拳銃	一	
十年式擲彈筒	四	
九一式車載輕機関銃	三	
九式車載輕機関銃	一	
三八式銃實包 紙弾匣	三八〇四〇	
十四年式拳銃實包	一六九六	
喇叭	二	
十三年式雙眼鏡	九	
小銃彈藥箱	六	
職工具 電管具	一	
携行自動車工具	一	
九四式輕裝甲車	一	
九式四分三砲積被牽引車	六	
四輪起動小型乗用車	一	
六輪乗用車	一	
六輪自動車	四	
側車	一	

備考

定数表ニ示ス品目員数ニシテ未タ補給ヲ受ケアラサルモノハ現在ノ儘トス

1880

附表第十四其ノ二

輕裝甲車隊携行練習用具品目員數表

品目	區分	位置	員數	備考	品目	區分	位置	員數	備考
自動車指揮用手旗組	一〇				側車前照燈覆青個	一			
戰車記號旗個	一三				右 同赤	二			
輕裝甲豫行演習台	一〇				トウチランブ	五			
×カ木ン	一〇				補給用水罐	五			
自動車後板張網	七				自動車枕木大	一六			
鐵道輸送用枕木	一六				右 同小	八			
碎水器	一				自動車標識板	一			
側車牽引網	一				側車偽裝網	一			
護護付×カ木ン	一				輕裝甲偽裝網	一七			
自動車前照燈覆青組	一〇				ホウメイ比重計	一			
右 同赤	二				戰車記號旗	一七二			

品目	区分	分量	単位	原頁	教稿	要
乗用車偽装網		個		一		
自動車教育用掛図		組		一	五本組トス	
軽装甲用白帯		個		一七		
炎火栓火花試験器				三		
自在歯位				七		
モニキースパナ	大			四		
右 同 中				七		
右 同 小				三		
断 鉄 釜				三		
仕 上 錠				四		
發電氣螺輪	一五五本	組		三		
自在螺輪	小	個		七		
柄付螺廻	大			七		
品目	区分	分量	単位	原頁	教稿	要
入		錠	個	四		
柄付螺廻	中			七		
右 同 小				三		
軽装甲軌跡板				三		
軽装甲標示車				五		
輕装甲偽装網				六		
被牽引車				三		
平錠	二五九荒目			三		
右 同 中 目				三		
右 同 細 目				三		
半丸錠	二五九荒目			三		
右 同 中 目				三		
平錠	一五〇荒目			三		
丸錠	二五〇荒目			三		

九鎧ニミ。耗	中日	三	自動車腰掛板	個	二〇
鎧柄大	〃	五	消火器携帶袋	〃	八
鎧目拂	〃	三	連絡旗	〃	一二
輕裝甲煙幕構成器	〃	五	指揮官旗	〃	二
輕裝甲煙幕物通過器	〃	一	隊形記號旗	〃	一
給油器油桶給油器	〃	一三	自動貨車用偽裝網	〃	七
輕裝甲特種工具布	〃	一七	輕裝甲車教育用掛圖	〃	八
ニールマンランシン	〃	八	車輛軌跡用麻網	〃	六
隊長旗	〃	一	車輛軌跡用標不換	〃	一五
輕裝甲牽引鎖	〃	二	揮發油補給器組	〃	一
後尾車輛標旗	〃	一	銃劍術用面	個	八〇
練炭器一號	〃	七	胴	〃	六五
右	〃	一二	肩	〃	六五
寒暖計	〃	一	有	〃	六五
パイリニ消火器	〃	八	右甲手	〃	四〇

品目区分		分	単位	数量	要
同	鏡剣術用左甲手	個	六五	一五	
同	布團	個	六五	一五	
同	指袋	個	二〇	三〇	
同	木鏡	個	六五	二〇	
同	短剣術用胸當	個	二〇		
同	背當	個	一五		
短	竹刀	個	三五	一五	
竹	刀	個	三	七	
軍	刀術用面	個	二	八	
同	胴	個	二	八	
同	垂	個	二	八	
同	左甲手	個	二	八	
同	右甲手	個	二	八	
品目区分		分	単位	数量	要
同	短木鏡	個	六五		
同	各個幕の伏	個	五五		
同	頭	個	五五		
同	携帯用幕の	個	四		
同	ファイバーの	個	一〇		
同	起伏の用伏の	個	一〇		
同	鉄杭	個	一〇		
同	麻繩	個	一〇		
同	荷車	個	一〇		
同	工事幕の	個	一〇		
同	遊動標の(小)	個	五		
同	同	個	四		
同	照準監査台	個	二		

0885

銃	聯	輕	戰	白	白	赤	分	藍	步	Lg	Mg	照	小
監	隊	裝	車	旗	旗	旗	隊	色	兵	標	標	準	銃
部	砲	甲	標	小	大	旗	旗	旗	砲	旗	旗	監	照
標	標	車	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	直	準
旗	旗	標	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	旗	桿	鏡
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	個
二	五	五	五	二	二	四	五	四	五	一〇	一〇	八	八
銃	隊	指	標	隊	旗	國	肩	腕	肩	衣	肩	鎧	三
	號	數	示	號	號	旗	(	章		川		戸	七
	布	布	幕	布	牢	旗	黃	赤	小	指	Lg	式	花
	板	板	幕	板	牢	旗	包	包		揮		不	大
	入	板	幕	板	牢	旗				官		流	砲
	袋	板	幕	板	牢	旗				川		布	標
										標		板	旗
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	個
三	一	三	六	一	一	一	四	三	二	五	四	二	四

9880

品目区分	単位	数量	要
鉈	個	二	鉈
鎌	個	三	同
小田原提灯	個	二	同
ロソク立	個	二	フットノール
陣中舟燈	個	二	偽装網個人用
公用行李入袋	個	二	同 帽子用
携帶電燈	個	二	同 築英受
同 入袋	個	一	彈着現示器
測 繩 一〇〇米	個	一	擬砲煙發射器
圓 盤	個	一	射 向 器
砲 丸	個	一	擬 暗眼鏡
百米卷尺	個	一	夜 光 羅針
秒 時 計	個	二	三脚托架立姿
品目区分	単位	数量	要
鉈	個	一	鉈
鎌	個	一	同
小田原提灯	個	一	同
ロソク立	個	一	フットノール
陣中舟燈	個	二	偽装網個人用
公用行李入袋	個	二	同 帽子用
携帶電燈	個	八	同 築英受
同 入袋	個	三	彈着現示器
測 繩 一〇〇米	個	三	擬砲煙發射器
圓 盤	個	二	射 向 器
砲 丸	個	一	擬 暗眼鏡
百米卷尺	個	一	夜 光 羅針
秒 時 計	個	五	三脚托架立姿

砂	野外携帶用	同	報告	野外携帶用	携帶用	刺圖用	土	繪画人像的
囊	袋	袋	受	板	板	針	囊	伏
個	個	個	個	個	個	個	個	個
二〇	一	一	一	一	六	一	三	一〇
繪画人像的	最高最低寒暖計	三	除毒包	箱	輕便車	同	主要毒物標本	洋服紙打板器
頭	計	舟	包	斗	取付台	台	本	器
個	個	個	個	個	個	個	組	個
二	二	五〇	二二	一	一	二	一	一

附表第十四其ノ三

携行陣營具品目員數表

目	員數	要	目	員數	要
同	小	三	物	一	
塗	大	三	肉	三	
筆	掛	四	算	二	
同	小	二	水	五	
腰	大	四	碩	五	
椅子	下士官用	二四	碩	四	
椅子	將校用	一〇	紙	二	
机	六人用	二〇	屑	四	
机	二人用	一三	入	四	
机	一人用	一七	鉄	四	
寝	台	一一二	製	四	
目	員數	摘	布	四	
			巾	四	
			雜	四	
			巾	四	
			掃	一	
			除	二	
			馬		
			穴		
			掲	一	
			示	七	
			板		
			目		
			員		
			數		
			摘		
			要		

6880

茶	湯	足踏式	洗面器	鉄製靴拭	炭取	炭取	壁板	吸殺	五徳	標札	同	複寫機	品目
盆	吞	壺	器	拭	取	取	台	入	大	小	十	大	目録
一	一〇	一七	一一五	三	二	二	三	三五	一	二六	二	二	教
													摘
													要
理髮具格納箱	栓	寒暖計	烏口	コンパス	時計	兵用手箱	下士官手箱	帳簿箱	筆筒	録	壁	湯	品目
箱	校	計	口	ス	計	箱	箱	箱	中		取	壺	目録
一	一	二	一	一	三	一二五	一八	一	五	一〇	六	二	教
													摘
													要

0680

食器袋	箸	湯呑	汁椀	皿	飯椀	湯椀	湯椀	手入油容器台	手入油容器	粉末消火器	軽便消火器	国旗小	消毒盤
一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一〇	一〇	六	一八	二〇	四	二	一
塵印棒	防火砂投箱	備付物品員数表	焼印	砂投箱蓋	手提金庫	印箱	理髮具合砥	理髮具掛巾	理髮具剃刀	理髮具バリカン	洗濯盆	汁タ子小	飯タ子小
一〇	一八	一七	一	二	一	一	一	六	六	六	二	二五	二五

1680

品	架	防	火	七	名	窓	煙	棕	茶	掃	掃	錐	文
品	品	煙	氣	札	札	台	草	招	瓶	除	除	付	箱
目	箱	具	標	輪	芝	札	受	拭	瓶	手	銀	刀	大
頁													
数	三	四	二	一	一	一	三	二	一	二	四	三	一
摘													
要													
品	文	草	勅	理	理	理	風	郵	勅	防	同	防	草
品	箱	箱	諭	具	具	具	呂	便	諭	火	上	火	具
目	小	小	額	差	差	子	衆	箱	箱	桶	蓋	ケ	手
頁													
数	一	一	九	一	一	三	一	一	一	二	二	四	五
摘													
要													

靴箱 二人用	靴箱 三人用	調味品箱	貴重品袋	洗面器 手洗用	如露	菜台	菜台	公用行李	補修材料箱	長靴用靴箱	搗杵	脱靴標 示器	脱靴 器
五	五	七	六	七	二	四	二	三	五	一	四	一	一
定規 丁型	郵便物袋	防火用砂桶	提灯	オイル ライター 火器	荷車	掃除具 草掻	紙綴器	編上靴箱	鋤簾	靴底消毒箱	洗面器 手洗用 小	二ム 木 一 マ	灰節
一	一	二	一	二	一	三	一	二	一	一	一六	一	二

8680

品目	数量	要	品目	数量	要
ドラム罐	一		洗濯石鹼入	六	
ドラム罐蓋	一		国旗竿	二	
石灰箱夕子共	一六		裁物具板	一	
砥石青	三		裁物具定規	一	
砥石荒	一		裁物具庖丁	一	
葦苘大	一		裁物具打錐	一	
活字格納箱	一		裁物具細槌	一	
活字挾	二		暖爐用薪炭箱	二	
書類格納箱 鉄製	二		荏洲國国旗小	一	
活字	二六		踏台	一	
活字ロニセソト	一		岡山式鹽水器	一	
防具消毒用甕	一		乗車標示板	二〇	
壺箱	一		火消壺	一	

經理規定	貴重品入袋	真空降除器	六規類聚	計經理參考	髮刷毛
一	五	一	一	一	六
金	藥	吸穀入台下	懷中頭	紙屑箱小	
四	六	大	一	一	
一	一	一	一	一	

考 備

一、第十五第十一中隊より他隊ニ差出ス人員ハ一ヶ人カ隊ヲ編成シ得ル
能力ヲ備フル如クシ年次別ハ各年次ノ在受者ノ比トス
二、通信手申ハ上第兵サクモニヲ含ミ有線手
シクモ一ヲ含マシモトス

計	材	21	15	計	9	8	7	4	3	2	1	新舊 隊部員
ウ	ウ											1
ウ	ウ											2
ウ	ウ											3
12	ウ		9									1キ
3	ウ		9									9
3	ウ											10
ウ	ウ											11
5	2		9									3キ
102	2	20	79	1								12A
102	2	100										22A
82					13	12	15		13	16	13	通信
2						1					1	以刺
8					1	1	2		1	1	2	新瓦
4					1		1			1	1	工電
2					1				1			工銃
2						1			1			工繩
2						1					1	工装
2	1										1	兵生衛
104	1				16	16	18		16	18	19	計

聯隊内ニ於ケル人員轉屬区分表

軍事
附表第十五

附表第十六

編成(編制改正)部隊所要兵器過不足表

昭和 年 月 日
部 隊 號 調

品 目	區 分	新兵器		其 他 保 管 数	摘 要
		数	定		
		数	在 現		
		(足 不)	過		
		(足 不)	過		
		省 軍 陸	又 特		
		軍	給 別		
		託 預	又 興 貸		
		用 員 勤			
		(足 不)	過		
		摘			
		要			

調製上注意

一本表ハ新定数ニ對シ旧定数ニ依ル現在数ヲ充當シタル過不足並其他ノ保
管品ヲ充當シタル過不足ヲ調査スルモノトス

ニ定数兵器ニ代用品ヲ充當支給シタル場合ニハ摘要欄ニ附記スルモノトス

三品目ハ保管兵器全数ニ亘リ漏レナク記載スルモノトス

四本表ハ銃器、砲兵、彈藥、戰車、輜重兵器、器材ニ區分スルモノトス

三

分	
所要数	

現在數

過(不足)

單價

小計

摘

要

調製上注意

一、所要數八部隊編成完結時、所要總數トス

二價格ハ不足ニ對スルモノニ就テノミ計上シ單價不明ノモノハ概價ヲ記入シ其旨摘要欄ニ附記スルモノトス

送納兵器品目員數表

昭和
年
月
日
調
査
隊
號

				品 目 分 區	
				返納員數	
				甲	外 譯
				乙	
				丙	
				廢品	
				計	
				摘	
				要	

調製上注意

一返納員数ハ編成(編制改正)ニ當リ實際過剩トナリタル品目員数トス

ニ甲ハ其儘戰用ニ使用シ得ルモノ乙ハ加修スレハ戰用ニ使用シ得ルモノ丙ハ程度不良ナルモノ實用ニ支障ナキモノ廢品ハ全ク使用ニ堪ヘサルモノヲ示ス

三、送納品中、部品、屬品、不足ナルモノハ其ノ内譯ヲ摘要欄ニ記載スルカ又ハ別表トシテ添付スルモノトス

四本表ハ銃器砲具 彈藥 戰車 輜重兵之器 器材ニ區分スルモノトス

6680

軍事機密

編成（編成改正）詳報

昭和十三年八月二十九日
第一戰車團司令部

第一 編成實施ノ概況

一、八月十六日二十一時戰車團獨立歩（獨立砲）（工）兵聯隊編成案
領同細則及戰車團獨立歩（獨立砲）（工）兵聯隊編成ニ關スル規定
ヲ受領ス

二、八月十七日九時各隊教育主任及殘留高級先任者ヲ集メ前項書類ヲ
交付スルト共ニ編成（編成改正）實施ニ關スル大項ニ就キ所要ノ說
明ヲ加ヘ打合セヲ行フ

三、編成（編成改正）業務實施ノ爲左記ノ通委員長及委員ヲ任命シ諸
般ノ事項ニ關シ各部隊ノ編成（編成改正）業務ヲ指導セシム

左記

委員長		委員	
芳村大佐	高畑中佐	太田中佐	増田少佐

四、八月十七日主任者ヲ軍司令部ニ派遣シ軍主任者ト細部ノ打合ヒヲ行ハシメ左記事項ヲ承知ス

左

記

佐	佐
藤	少
水	少
佐	佐

ノ戰車第三乃至第五聯隊ハ戰車團司令部編成完結ト共ニ團長ノ隸下ニ編入ス

但シ戰車第五聯隊ハ目下第三軍司令官ノ指揮下ニ在ルヲ以テ戰車團長ノ隸下編入ノ時期ニ關シテハ軍ヨリ命令セラル

2. 編成改正ニ伴ヒ歩砲工兵隊及無線電信教育隊ノ隸下ヲ脫スル時期ハ戰車團司令部編成完結時トス

3. 北鮮ニ出動中ノ部隊ノ編成（編成改正）ハ同部隊駐屯地歸還後實施ス

五、八月十八日編成（編成改正）實施ノ爲司令部ニ於テ統制ヲ要スル事項ニ就キ各部隊ニ對シ別冊ノ通編成（編成改正）實施ニ關スル指示ヲ與フ

六、北鮮ニ出動中ノ部隊ニ對シテハ八月十八日連絡者ヲ派遣シ編成（編成改正）ニ關スル諸般ノ事項ヲ傳達セシム

七、軍規定第二十五條ニ基ク職務命課意見ハ八月十九日軍ニ提出ス

八、八月二十一日編成（編成改正）ニ著手ス

九、八月二十三日軍司令部ヨリ職務命課ニ關シ申請ノ通認可セラレタル旨傳達（電話及電報）セラル

十、戰車團司令部ハ八月二十三日編成完結シ軍司令官ニ對シ其旨報告（電報）スルト共ニ正午別紙ノ通新ニ據下ニ入ルヘキ部隊ニ對シ命令ス

十一、八月二十三日午後據下ヲ脫シタル部隊ノ内歩兵隊及無線電信教習隊ノ將校ヲ集メ訓示ヲ與フ

十二、八月二十四日戰車團長ハ軍司令部ニ出頭、軍司令官ニ對シ編成完結ノ報告ヲ行フ

第二 將來ニ關スル意見

一、今次ノ如キ重要ナル編成改正ニ方リテハ直接兵團長ヲ軍司令部ニ招致スルカ或ハ軍主任者自ラ關係書類ヲ携行シテ其主旨ヲ説明セラ
ルルヲ可トス

二、廣範圍ニ亘ル編成改正ニ方リテハ命令受領ヨリ編成改正著手迄若干ノ餘裕アル如クスルヲ要ス

今次ノ如ク八月十六日關係書類ヲ受領シ二十一日著手ト規定セラレタルモ關係部隊相互ノ連絡ニ餘裕ナク編成改正業務實施ノ爲支障ヲ來シ易シ

三、戰車團ハ司令部ノ外戰車三聯隊ヲ以テ編成セラレアルモ司令部ニ通信機關ヲ有セス斯クテハ兵團長カ部下ヲ運用スル爲連絡手段ヲ有セサルヲ以テ少クモ戰時編成ニ於テハ通信機關ヲ編成シ得ル如ク平

第三、
 將校職員表及人車一覽表附表第一第二ノ如シ

時ヨリ所要ノ器材ヲ有スルコト必要ナリ

第三、將校職員表及人車一覽表附表第一第二ノ如シ

9060

別冊
軍事機密

兵團編制改正實施ニ關スル指示

昭和十三年八月十八日
安岡部隊本部

兵團編制改正實施ニ關スル指示

一、本指示ハ戰車團、獨立歩（獨立砲）（工）兵聯隊ノ編成（編制改正）實施ニ關シ軍令陸甲第五十二號編成要領以下編成要領ト畧稱ス並陸滿機密第三〇號同細則以下細則ト畧稱ス及關參編第五〇一號ノ編成ニ關スル規定以下規定ト畧稱スニ據リ兵團ニ於テ統制ヲ要スル事項ヲ指示スルモノトス

二、規定第十三條ニ據リ建制ノ儘戰車第四聯隊ニ轉屬スヘキ獨立歩兵第一聯隊輕裝甲車隊ニハ現ニ有スル一切ノ戰用諸品諸物品ヲ含ムノ外獨立歩兵第一聯隊ニ於テ輕裝甲車隊ノ爲現ニ準備シアル一切ノ動員用諸品ヲ携行セシムルモノトス

三、獨立歩兵第一聯隊獨立混成第一旅團砲兵隊、同工兵隊及同無線電信教育隊ハ司令部ヨリ交付ヲ受ケタル機秘密書類（各員ハ其書類ハ特ニホスモノトシテ）ハ其儘保管轉換ノ手續ヲ取ルモノトス

四、規定第二十五條ニ據ル職務命課意見ハ司令部經由軍司令官ニ申請ス

ルモノトス

五 規定第十五條乃至第十七條及第三十一條ニ據リ編成担任官ヨリ報告

(通報)スヘキ書類ハ司令部ヲ經由スルモノトス

但戰車第四聯隊編成担任官ヨリ提出スヘキ書類ハ總テ司令部ヲ經由

スルモノトス

別紙

安戰作命第一號

第一戰車團命令

八月二十三日 正午
於公主嶺戰車團司令部

一、第一戰車團司令部ハ八月二十三日編成ヲ完結セリ
三、左記部隊ハ八月二十三日正午ヨリ予ノ隸下ニ入ルヘシ

左記

第一戰車團司令部
戰車第三聯隊
戰車第四聯隊
戰車第五聯隊

安岡部隊長 安岡 中將

下達法

印刷交付

6060

附表第一

計欠 員外 計 一九 步大尉 原健護	團長 中將 安岡正臣 18		戰車第一團司令部將校職員表	
	副官 步少佐 増田梅喜 30 步大尉 久保達夫 22 部員 步大佐 芳村正義 28 少佐(大尉)欠 一		昭一三、八、二三	
	兵器掛 砲少佐 佐藤三郎 30 砲大尉 森蘭國雄 11 暗號掛 工大尉 沖島定一 7 主計 主中佐 高畑 富昭 9 軍醫 醫中佐 太田治久 12			

附表第二

人車一覽表

昭一三八二三調製

考 備	第一戰團司令部			部 階		人
	増(城)	在 現 員	定 員	隊 分	級	
一、大尉一名定員外トス 一、少佐三名ノ内(大尉少佐)一名ヲ含ム 一、内八定員ニ對スル欠員(欠数)ヲ示ス		/	/	將	(少)	中
	/	(下)		佐		大
	(1)		/	佐		中
	(1)	2	3	佐		少
	/	4	3	尉		大
		5	7	長	曹	工
		2		曹	軍	官
	(2)2	15	15	計		
		/	/	官	佐	經
				尉	准	理
	2	2	2	官	士下	部
	/	/	/	官	佐	衛
	/	/	/	尉	准	生
				官	士下	部
	/	/	/	尉	准	技
	/	/	/	官	士下	機
	7	7	7	計		
	22	22	22	計 合		
(1)	3	4	4	車	脈輸	車
(4)		4	4	車	貨輸	車
(1)		/	/	車	用兼型小	車
(3)	3	6	6	車	側	車
(7)	6	15	15	計		